



ARIM Japan

RDE の操作手引き

簡易版 マニュアル (Ver.5.0.0)

管理スタッフ及びデータ登録者向け

RDE 主な操作

研究チーム作成

データセット開設

データ登録

閲覧及び DL 方法

Table of contents

1. 初めに	4
1.1 RDE 機能概要	5
1.2 本書の対象者	5
1.3 業務用語	5
2. RDE 利用 (操作及び役割権限)	7
2.1 RDE 利用の流れ (主な操作フロー)	8
2.2 RDE 操作者の役割一覧表	9
2.3 RDE へのログイン	12
2.4 RDE からのログアウト	13
3. 研究チーム作成方法	14
3.1 RDE データ閲覧アプリへのアクセス	15
3.2 「グループ閲覧・データセット開設」の選択画面	15
3.3 「マテリアル先端リサーチインフラ事業」の選択画面	15
3.4 「所属の機関のグループ」の選択画面	16
3.5 所属の機関のグループ一覧表示の画面	16
3.6 研究チーム作成画面	17
3.7 チームメンバーの役割	17
3.8 研究チームに csv によるインポートでメンバーを追加する	18
4. データセット開設方法	21
4.1 RDE のデータ閲覧アプリへのアクセス (3.1 と同じ、省略)	22
4.2 「グループ閲覧・データセット開設」の選択画面	22
4.3 「マテリアル先端リサーチインフラ事業」の選択画面	22
4.4 「所属の機関のグループ」の選択画面	23
4.5 「所属のチーム」の選択画面	23
4.6 データセット開設画面	24
4.7 データセットテンプレートの選択画面	24
4.8 装置選択画面	25
4.9 データセットテンプレートの選択画面	25
4.10 データセットの基本情報の入力画面	26
4.11 データセット入力内容の確認画面	26
4.12 データセットが開設された画面	27
4.13 データセット開設についての補足	27
5. データ登録方法	28
5.1 RDE データ登録アプリへのアクセス画面	29
5.2 仕掛データセット一覧画面	29
5.3 装置条件で登録先データセットの選択画面	29
5.4 利用装置を所有する機関の選択画面	30
5.5 装置に紐づいているデータセットの選択画面	30
5.6 送り状入力画面	31
5.7 送り状入力 基本情報の入力	31
5.8 送り状入力 試料情報の入力	32
5.9 送り状入力 固有情報の入力	32
5.10 送り状入力 データファイルの登録	33
5.11 送り状入力 添付ファイルの登録	33
5.12 内容確認画面	34
5.13 データ登録状況詳細画面	35
6. データ閲覧方法	36
6.1 RDE データ閲覧アプリへのアクセス (省略、同 3.1)	37
6.2 データセット一覧の画面	37
6.3 登録データの一覧画面	37
6.4 データの詳細確認	38
6.5 データ詳細画面の表示	38
6.6 概要タブについて	39
6.7 メタデータ情報について	39
6.8 ファイルタブについて	40
6.9 データ詳細の添付ファイルタブについて	40

7.データのダウンロード方法	41
7.1 全データの一括ダウンロードをする場合	42
7.2 特定のデータだけをダウンロードする場合	42
8.データセット基本情報の編集方法	43
8.1 編集したいデータセットの選択	44
8.2 編集画面の表示	44
8.3 基本情報の編集及び保存	45
9.データカタログの編集方法	46
9.1 編集したいデータセットの選択	47
9.2 データカタログ作成画面の表示	47
9.3 データカタログの編集及び保存	47
10.タクソノミーの編集方法	48
10.1 編集したいデータセットの選択	49
10.2 タクソノミー欄の表示	49
10.3 タクソノミーキーの記入	49
10.4 タクソノミーキーの記入方法 [1/3] (全般、基本情報)	50
10.4 タクソノミーキーの記入方法 [2/3] (装置情報、試料情報)	50
10.4 タクソノミーキーの記入方法 [3/3] (固有情報、自動取得情報)	50
10.5 タクソノミーキー指定例 [1/2]	51
10.5 タクソノミーキー指定例 [2/2]	51
11.添付ファイルの登録方法	52
11.1 RDEデータ閲覧アプリへのアクセス	53
11.2 データへのアクセス [1/2]	53
11.3 データへのアクセス [2/2]	54
11.4 送り状編集	54
11.5 添付ファイル保存	55
11.6 添付ファイルの確認 [1/2]	55
11.6 添付ファイルの確認 [2/2]	56
11.7 添付ファイルが登録されている場合のデータダウンロード	56
12.送り状入力項目の修正方法	57
12.1 RDEデータ閲覧アプリへのアクセス	58
12.2 データへのアクセス [1/2]	58
12.3 データへのアクセス [2/2]	59
12.4 送り状編集 [1/3]	59
12.4 送り状編集 [2/3]	60
12.4 送り状編集 [3/3]	60
12.5 修正確認	61
13.DICE アカウント	62
13.1 DICE アカウント作成	63
13.2 DICE アカウントのプロフィール修正手順	67
14.RDEに関するFAQ集	69
14.1 DICE アカウントについて	70
14.2 データセットの開設にかかる事項	71
14.3 データ登録にかかる事項	80
14.4 入力情報について	86
14.5 試料情報について	88
14.6 テンプレート・メタデータについて	89
14.7 データ削除にかかる事項	91
14.8 非共用、共用 (広域シェア) について	92
14.9 システムにかかる事項	93

1. 初めに

1.1	RDE 機能概要	P5
1.2	本書の対象者	P5
1.3	業務用語	P5

1. 初めに

1.1 RDE 機能概要

Research Data Express (RDE) は、マテリアル DX プラットフォーム構想の取組みの「データ中核拠点」として、国内の物質・材料に係るあらゆるデータを保持可能とし、国内の物質・材料研究に供するためにデータをクラウド上で管理するシステムです。また、「データ創出基盤」である「マテリアル先端リサーチインフラ」からデータを受入、構造化しデータセットとして保存します。

RDE では主に以下の 3 つのサービスを提供します

① 研究データ蓄積・管理サービス

物質・材料に関する研究データの内、構造化・組織化が為されていない研究上の Raw データ、もしくは生成される物質・材料研究データを収集・構造化して、保存します。

データセットは共有範囲内もしくは研究チーム内に閉じる形で構成し、データの付加価値を高めて再利用・流通できるようにします。

② 研究データ公開・共用 (検索・閲覧)・データ構造化サービス

研究データ蓄積・管理サービス、もしくはデータ構造化サービスにより蓄積されたデータセット群を検索・閲覧し、ダウンロードして提供します。

データセット群の閲覧・ダウンロードは、データセットを管理している RDE 登録者のみならず、RDE で蓄積したデータの閲覧を申請した RDE 利用者も可能です。

③ マスタ管理サービス

RDE で生成される物質・材料に関する研究データセットを管理し、再利用・流通できるようにするためのマスタデータ類を管理します。

本サービスで管理する情報は、ユーザ・認可情報、装置情報、試料情報、語彙 (装置・試料に関する用語) です。

1.2 本書の対象者

手引きは、管理スタッフ、RDE データ登録代行者、及び RDE 利用者を対象とします。

1.3 業務用語

研究チーム

データセットを共同作成する研究者の集まり。データセットや試料を共有する最小単位となる。先端リサーチインフラ事業では、機器利用の申請時に申請者がメンバを指定する。研究チームはハブやスポークにおいて機器利用の申請を承認する立場の人が作成する。

データセット

特定の目的やテーマに沿って収集されたデータ群を指す。統計処理や機械学習等にも利用しやすいようにデータが構造化された状態となっており、データの属性や意味がわかるデータカタログを備える。

ある目的のもとで得られたデータ群の単位で、大別すると装置からある実験目的で得たデータ群のセットと、装置そのもののリファレンスデータや、ログデータを機器のメタデータと一緒に収集するデータセットのパターンがある。

データセットテンプレート

アップロードされたデータに対してデータ構造化を行うか否かを含めてサーバーで行われる処理内容を定義づけるテンプレートのこと。データセット開設時に、一つのデータセットテンプレートを選ぶ。同じ研究において、データ構造化して登録したい場合と、データ構造化せずに登録したい場合がある場合には、それぞれ別のデータセットテンプレートを選んでそれぞれ別のデータセットを開設する必要がある。

仕掛データセット

RDE にログインしているユーザがデータ登録に利用可能なデータセットのこと。ログインユーザが属している研究チームに紐づくデータセットであって、ログインユーザが当該研究チームにおいてデータ登録可能なロールを割り当てられている場合に、RDE データ登録アプリで検索すると表示される。

送り状

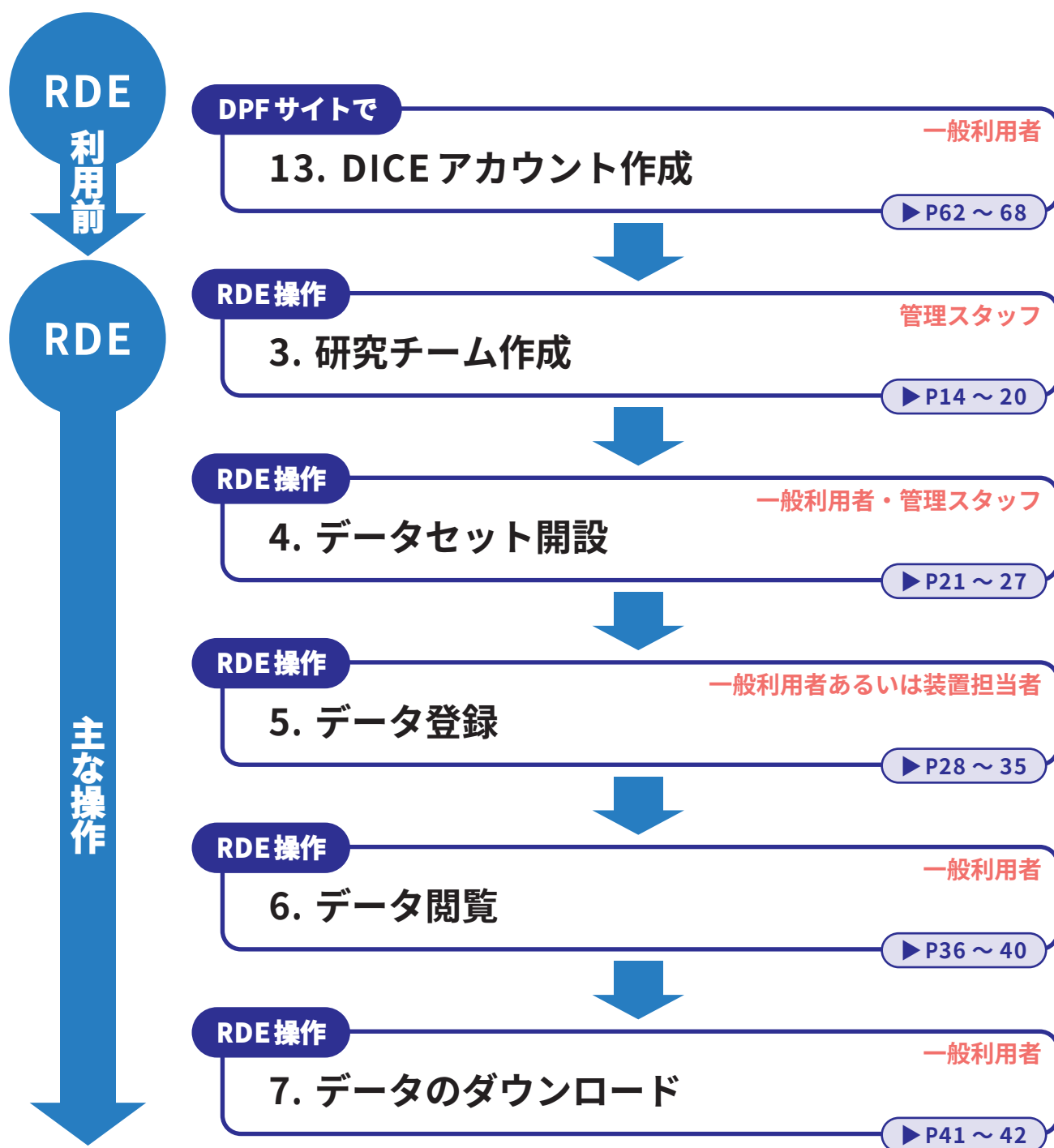
データ送付状。データ構造化させるときに、装置PC等から Raw データと一緒に送付する。データ送付状には、データ登録者やデータセットの行き先を含む「基本情報」、計測やプロセス機器で対象とした「試料情報」、および該機器においてユーザが実験記録で必要となる「固有情報」の3つのメタデータが記録できるファイルがある。ファイル様式はJSON形式ファイルとなっている。

2.RDE 利用（操作及び役割権限）

2.1	RDE 利用の流れ（主な操作フロー）	P 8
2.2	RDE 操作者の役割一覧表	P 9
2.3	RDE へのログイン	P12
2.4	RDE からのログアウト	P13

2.RDE利用（操作及び役割権限）

2.1 RDE利用の流れ（主な操作フロー）



2.RDE 利用（操作及び役割権限）

2.2 RDE 操作者の役割一覧表

役割（ロール）と各役割の内容

管理	内容
管理スタッフ	研究チーム作成、メンバ編成、メンバの役割（ロール）管理
事業管理者	担当する事業内の研究チームのデータセットのエンバーゴが終了した場合に、当該データセットの閲覧・DLが可能

研究チーム	内容
研究チーム管理者（管理者代理含む）	研究チームの代表責任者（代表責任者代理）
研究チームメンバ	研究チームのメンバにおける標準的役割
データ閲覧者	データセット、データ、試料の閲覧をする役割
データ登録代行者	データ登録を代理で行う役割。試料閲覧も可能

データセット及びデータ	内容
データセット管理者	データセットの管理責任者。研究チーム管理者（代理含む）、研究チームメンバのいずれかのロールを与えられた人になれる。
データ所有者	データの所有者。研究チーム管理者（代理含む）、研究チームメンバのいずれかのロールを与えられた人になれる。
データ登録者	データ登録を行った者。データ登録代行者による場合は、データ登録代行者になる。

試料	内容
試料管理者	試料の管理者。通常はデータ登録者に割り当てられる。データ登録代行者による場合は、データセット管理者に割り当てられる。
試料登録者	試料登録を行った者。データ登録代行者による場合は、データ登録代行者になる。

2.RDE 利用（操作及び役割権限）

研究チームへの各役割（ロール）の権限

	管理 スタッフ	研究チーム 管理者	研究チーム メンバ	データ 閲覧者	データ登録 代行者
研究チーム作成	○	×	×	×	×
研究チーム閲覧	○	○	○	○	○
研究チームの名前及び説明の編集	○	×	×	×	×
研究チーム削除	○	×	×	×	×
研究チームメンバー一覧の閲覧	○	○	○	○	○
研究チームへのメンバ追加、削除、編集	○	△※ ¹	×	×	×
課題一覧の閲覧	○	○	○	○	○
課題の追加、削除	○	○	×	×	×
データセット開設	○	△※ ²	×	×	×
データセット削除	○	×	×	×	×

△※¹：メンバ編集権限が付与された場合のみ可

△※²：データセット開設権限が付与された場合のみ可

データセットへの各役割（ロール）の権限

	管理 スタッフ	データ セット 管理者	研究 チーム 管理者	研究 チーム メンバ	データ 閲覧者	データ 登録 代行者	データ 所有者	データ 登録者
データセット基本情報の閲覧	○	○	○	○	○	○	×	×
データカタログの閲覧	×	○	○	○	○	×	×	×
メタデータ項目リストの閲覧	×	○	○	○	○	×	×	×
データセットのダウンロード	×	○	○	○	○	×	×	×
データセットの基本情報の編集	×	○	○	×	×	×	×	×
データセット管理者の変更	×	○	○	×	×	×	×	×
データカタログの編集	×	○	○	×	×	×	×	×
データセット一覧での検索結果の閲覧	○	○	○	○	○	○	×	×
仕掛データセット一覧での検索結果の閲覧	×	○	○	○	×	○	×	×

2.RDE 利用（操作及び役割権限）

データへの各役割（ロール）の権限

	管理 スタッフ	データ セット 管理者	研究 チーム 管理者	研究 チーム メンバ	データ 閲覧者	データ 登録代 行者	データ 所有者	データ 登録者
データの登録	×	○	○	○	×	○	×	×
データ登録状況一覧での閲覧	×	○	○	×	×	×	×	×
データ登録状況詳細の閲覧	×	○	○	×	×	×	×	×
データの削除	×	○	○	×	×	×	×	×
データ一覧の閲覧	×	○	○	○	○	×	×	×
データ詳細（概要）の閲覧	×	○	○	○	○	×	×	×
ファイル一覧の閲覧	×	○	○	○	○	×	×	×
添付ファイル一覧の閲覧	×	○	○	○	○	×	×	×
データのダウンロード	×	○	○	○	○	×	×	×
登録済み送り状の編集	×	○	○	×	×	×	×	×
データ登録の中止	×	○	○	×	×	×	×	×

試料への各役割（ロール）の権限

	管理 スタッフ	試料 管理者	試料 登録者	研究 チーム 管理者	研究 チーム メンバ	データ 閲覧者	データ 登録代 行者
試料の登録	×	—	—	○	○	×	○
試料の削除※ ¹	×	○	×	○	×	×	×
試料の送り状への引き込み※ ²	×	○	○	○	○	○	○
試料の閲覧	×	○	○	○	○	○	○
試料一覧、試料選択での試料の閲覧※ ³	×	○	○	○	○	○	○
試料の編集	×	○	×	○	×	×	×

※¹：データから参照されている試料は削除不可

※²：送り状へ引き込む試料は、送り状に紐づくデータセットを所有する研究チームが所有若しくは共有する試料が対象

※³：送り状への引き込み時の試料選択は、※²と同様

2.RDE 利用（操作及び役割権限）

2.3 RDE へのログイン

① RDE アプリの選択

- RDE にはデータ閲覧アプリとデータ登録アプリとがあります。
- RDE データ閲覧アプリ → <https://rde.nims.go.jp/>
- RDE データ登録アプリ → <https://rde-entry-arim.nims.go.jp/>
- 各アプリにはウェブブラウザでアクセスします。

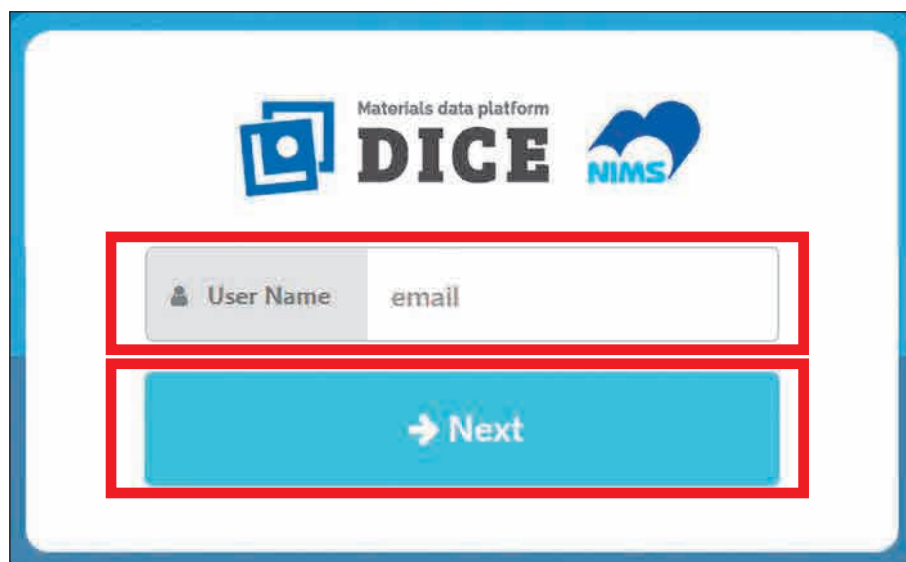
② ログインアカウントの選択

- 「DICE アカウントでログイン」をクリックします。
- NIMS アカウント保有者は、NIMS 内ネットワークからアクセスする場合には、「NIMS アカウントでログイン」をクリックします。



③ DICE アカウントのメールアドレス入力

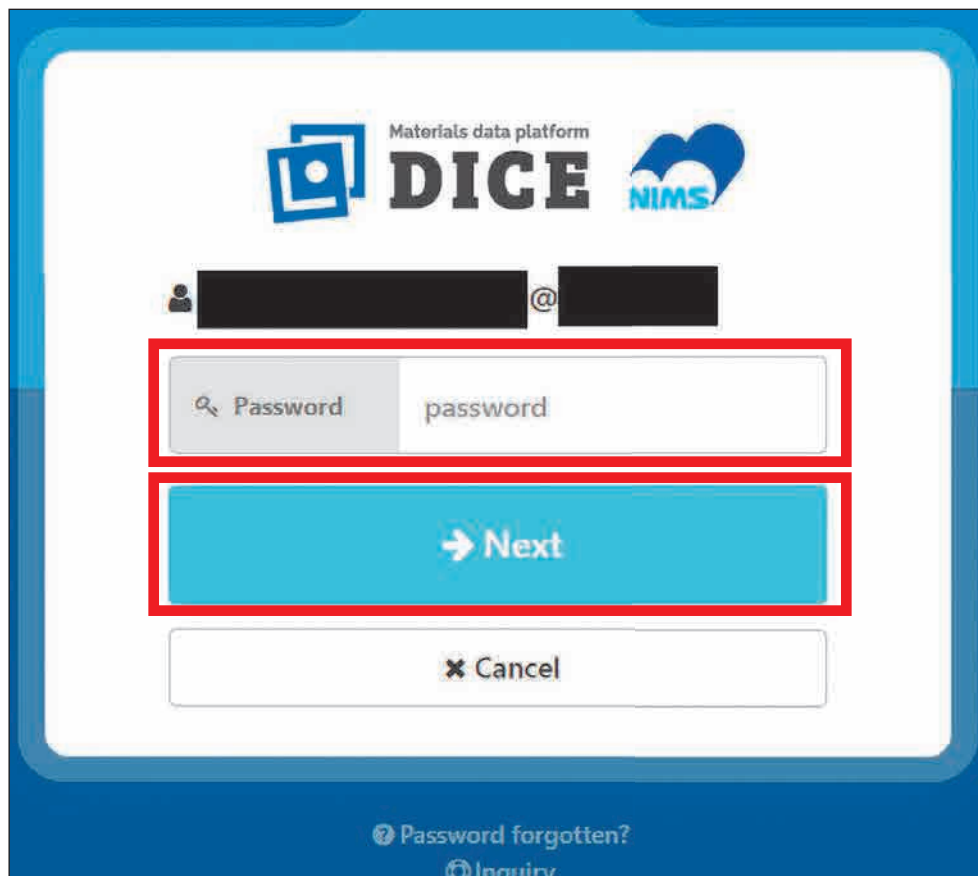
- DICE アカウントに登録したメールアドレスを入力します。
- 「→ Next」をクリックします。



2.RDE 利用（操作及び役割権限）

④ DICE アカウントのパスワード入力

- DICE アカウントのパスワードを入力します。
- 「→ Next」をクリックします。
- 各アプリの画面になります。



2.4 RDE からのログアウト

- 「ログアウト」ボタンをクリックします。
- ブラウザを閉じます。



3. 研究チーム作成方法

3.1	RDE データ閲覧アプリへのアクセス	P15
3.2	「グループ閲覧・データセット開設」の選択画面	P15
3.3	「マテリアル先端リサーチインフラ事業」の選択画面	P15
3.4	「所属の機関のグループ」の選択画面	P16
3.5	所属の機関のグループ一覧表示の画面	P16
3.6	研究チーム作成画面	P17
3.7	チームメンバーの役割	P17
3.8	研究チームに csv によるインポートでメンバーを追加する...	P18

3. 研究チームの作成方法

3.1 RDE データ閲覧アプリへのアクセス

- RDE のデータ閲覧アプリ (<https://rde.nims.go.jp/>) にブラウザでアクセスします。
- DICE アカウント又は NIMS アカウントでログインします。

3.2 「グループ閲覧・データセット開設」の選択画面

- プルダウンから「グループ閲覧・データセット開設」あるいは「グループ閲覧・データセット代理開設」を選んでクリックします。



3.3 「マテリアル先端リサーチインフラ事業」の選択画面

- 「マテリアル先端リサーチインフラ事業」をクリックします。



3. 研究チームの作成方法

3.4 「所属の機関のグループ」の選択画面

● マテリアル先端リサーチインフラ事業の画面になります。

● ここでご機関名(組織名)をクリックします。

※この画面がどのように表示されるかは、ログイン者の権限に依存します。

グループ詳細: マテリアル先端リサーチインフラ事業

マテリアル先端リサーチインフラ事業(ARIM Japan)がホストする研究プロジェクト群です

グループID: 4bb62be-f270-4e46-9682-38cd064607b0

戻る

サブグループ

グループ名で検索

グループ名	説明
NIMS/物質・材料研究機構	物質・材料研究機構(NIMS)がホストする研究プロジェクト群です

グループメンバー

なし

課題

なし

3.5 所属の機関のグループ一覧表示の画面

● ご所属の機関(組織)の画面に遷移します。

● ここで「サブグループ作成」ボタンをクリックします。

※一覧表示されているものは、既に作成された研究チームです。

グループ詳細: NIMS/物質・材料研究機構

物質・材料研究機構(NIMS)がホストする研究プロジェクト群です

グループID: 13f15f1b-9dc7-47d4-beab-9962199982da

サブグループ作成 編集 戻る

サブグループ

グループ名で検索

グループ名	説明
1130ヒアリング用	データ共用チーム、飯野さん、李さん
DEPLOY_TEST_GROUP	モジュールデプロイ時の動作確認等テストユーザ
Matsunami_Admin_Gr	松波のみの管理者Gr
NIMS-ARIM微細加工分野	ナノファブリケーショングループの実験テスト用
NIMS-ARIM材料評価分野	ナノバイオグループの実験テスト用
TEST-ARIM-maru20220729	メンバー: 丸林のみ
test-hirano-0727-1	田原、小宮さん、中村さん

3. 研究チームの作成方法

3.6 研究チーム作成画面

- グループ新規登録画面が表示されます。
- 研究チームの情報を入力していきます。
- 「登録」ボタンをクリックしますと、研究チーム作成は完了です。

グループ名
研究チームの名前を入れます。

グループメンバ
研究チームのメンバとなる方の DICE アカウントで登録したメールアドレスを入れ、「追加」ボタンをクリックします。
全部のメンバについて行います。
メンバのうち一人の役割(ロール)※を「研究チーム管理者」にします。
他のメンバの方の役割も適切なものに設定します。

課題
課題番号、課題名を入れて「追加」ボタンをクリック。

※役割(ロール)については、下記に一覧を参照

3.7 チームメンバーの役割

チームメンバの役割(ロール)	
研究チーム管理者	研究チームの代表責任者。研究チームが所有する全てのデータセットへのデータ登録、データ閲覧、データ DL、データ削除が可能。 権限を付与すれば、データセット開設や研究チームメンバ編集も可能。
研究チーム管理者代理	研究チームの代表責任者代理。研究チーム管理者と同等の権限を有する。
研究チームメンバ	研究チームのメンバ。研究チームが所有する全てのデータセットに対してデータ登録、データ閲覧、データ DL が可能。データ削除は不可。
データ登録代行	研究チームが所有する全てのデータセットへのデータ登録を代行する者。データ閲覧不可、データ DL 不可、データ削除不可。
データ閲覧者	研究チームが所有する全てのデータセットのデータ閲覧及びデータ DL が可能。データ登録不可、データ削除不可。

3. 研究チームの作成方法

3.8 研究チームに csv によるインポートでメンバーを追加する

- csv インポートでは、「**メンバ全員を入れ替え**」(上書き)を行います。
- 新たに追加するメンバのみのデータの csv ファイルをインポートすると、すでに登録済みのメンバは削除され、新たに追加のメンバのみに置き換わります。
- すでに登録済みのメンバ + 新規追加メンバを反映させるためには csv ファイルに「すでに登録済みのメンバ + 新規追加メンバ」のデータが必要となります。
- csv ファイルのフォーマットは以下のとおりです。

項目名	必須項目	説明
mail_address	☐	グループに参加させるユーザのメールアドレスを指定します。 メールアドレスは、DICE アカウントとして登録したメールアドレスです。 最大 256 文字となります。
group_role	☐	グループでのユーザの役割を指定します。以下のいずれかを指定します。 OWNER：研究チーム管理者 ASSISTANT：研究チーム管理者代理 MEMBER：研究チームメンバ VIEWER：データ閲覧者 AGENT：データ登録代行者
can_create_datasets	☐	データセット開設権限を与える場合は TRUE をそれ以外は FALSE を設定します。 OWNER または ASSISTANT 以外のロールは全て FALSE を設定します。
can_edit_members	☐	グループメンバ編集権限を与える場合は TRUE をそれ以外は FALSE を設定します。 OWNER または ASSISTANT 以外のロールは全て FALSE を設定します。

A	B	C	D
mail_address	group_role	can_create_datasets	can_edit_members
□□□.□□□@nims.go.jp	OWNER	FALSE	TRUE
○○○.○○○@nims.go.jp	ASSISTANT	TRUE	FALSE
△△△.△△△@nims.go.jp	MEMBER	FALSE	FALSE

所定のファイルフォーマットで書かれた CSV ファイルの例

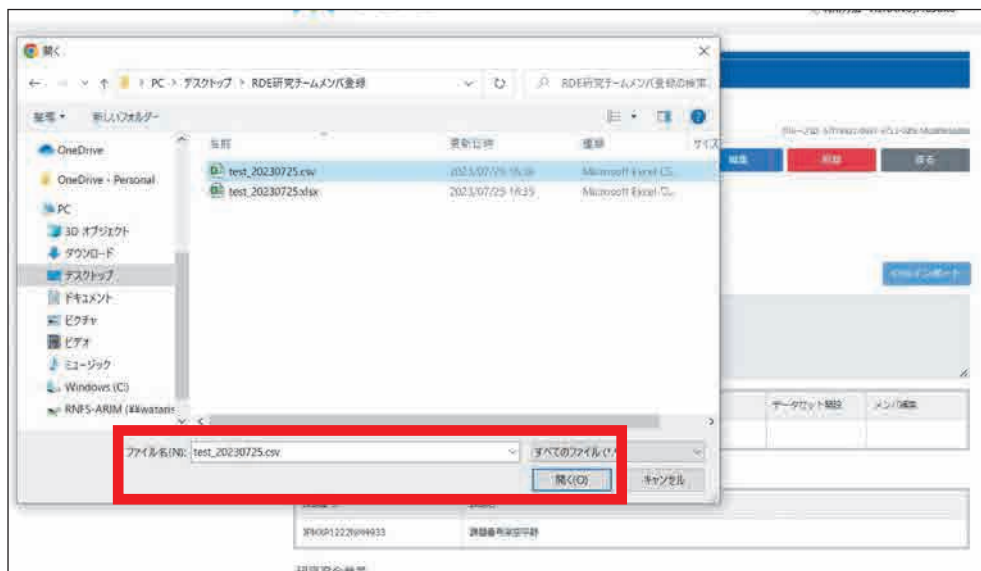
- CSV(コンマ区切り)のファイルを作成ください
- CSV ファイルの 1 行目はヘッダ行のため、インポート対象ではありません。
ヘッダ行には下記を記載してください。
mail_address,group_role,can_create_datasets,can_edit_members

3. 研究チームの作成方法

- (1) 所定のファイルフォーマットで書かれた CSV ファイルを用意し、研究チーム編集画面の「ファイル選択」ボタンをクリックします。



- (2) ファイル選択画面が出現するので用意した csv ファイルを選択します。



- (3) 開いたファイルが画面上に反映されていることを確認したら、右端の「CSV インポート」をクリックします。



3. 研究チームの作成方法

(4) インポートが実行され、実施結果が[インポート結果]に表示されます。

成功時

グループ詳細: TEST_HIRANO_0725

CSV一括メンバ登録のテスト用

データセット 編集

サブグループ

なし

グループメンバ

ファイル名: ファイル選択 test_20230725.csv CSVインポート

インポート結果

インポート処理に成功しました。[3件]
2件目 HIRANO Masako(HIRANO.Masako@nims.go.jp)のcan_edit_membersが変更されました。

ユーザ名	所属	役割	データセット閲覧	メンバ編集
HIRANO, Masako	NIMS	研究チーム管理者		●
MARUBAYASHI, Keiko	NIMS	研究チーム管理者代理	●	
hirano01		研究チームメンバ		

課題

課題番号	課題名
JPMXP1222NM4933	課題番号架空平野

インポート処理欄に「インポート処理に成功しました。」と表示されます。
変更があった箇所についてもインポート結果欄に表示されます。

失敗時

グループ詳細: TEST_HIRANO_0725

CSV一括メンバ登録のテスト用

グループID: 57f744e1-0697-4713-92fe-5fca8be9e0bb

データセット 編集 削除 戻る

インポート結果

インポート処理が失敗しました。インポート結果を確認してください。

「インポート処理が失敗しました。インポート結果を確認してください。」と表示されます。

3件目 can_create_datasets, can_edit_membersは研究チーム管理者もしくは研究チーム管理者代理のみ設定可能です。

ユーザ名	所属	役割	データセット閲覧	メンバ編集
HIRANO, Masako	NIMS	研究チーム管理者		

課題

課題番号	課題名
JPMXP1222NM4933	課題番号架空平野

研究資金番号

インポート処理欄にインポート処理が失敗した原因が表示されます。
CSVファイルに問題がある場合、インポート結果に表示される画面メッセージに従って修正を行い、再度[ファイル選択]、[CSVインポート]を実行してください。

4. データセット開設方法

4.1	RDE のデータ閲覧アプリへのアクセス (3.1 と同じ、省略) …	P22
4.2	「グループ閲覧・データセット開設」の選択画面 ……………	p22
4.3	「マテリアル先端リサーチインフラ事業」の選択画面 ……	P22
4.4	「所属の機関のグループ」の選択画面 ……………	P23
4.5	「所属のチーム」の選択画面 ……………	P23
4.6	データセット開設画面 ……………	P24
4.7	データセットテンプレートの選択画面 ……………	P24
4.8	装置選択画面 ……………	P25
4.9	データセットテンプレートの選択画面 ……………	P25
4.10	データセットの基本情報の入力画面 ……………	P26
4.11	データセット入力内容の確認画面 ……………	P26
4.12	データセットが開設された画面 ……………	P27
4.13	データセット開設についての補足 ……………	P27

4. データセット開設方法

4.1 RDE のデータ閲覧アプリへのアクセス (3.1 と同じ、省略)

4.2 「グループ閲覧・データセット開設」の選択画面

- データセット一覧画面の「グループ閲覧・データセット開設」をクリックします。
- プルダウンから「グループ閲覧・データセット開設」または「グループ閲覧・データセット代理開設」を選んでクリックします。



4.3 「マテリアル先端リサーチインフラ事業」の選択画面

- 全事業グループの画面になります。
- 「マテリアル先端リサーチインフラ事業」をクリックします。



4. データセット開設方法

4.4 「所属の機関のグループ」の選択画面

- マテリアル先端リサーチインフラ事業の画面になります。
- ご所属の機関名（組織名）をクリックします。

※この画面がどのように表示されるかは、ログイン者の権限や状況に依存します。

グループ詳細：マテリアル先端リサーチインフラ事業

マテリアル先端リサーチインフラ事業(ARIM Japan)がホストする研究プロジェクト群です

グループID: 4b6f62be-f270-4e46-9682-38cd064607b6

戻る

サブグループ

グループ名で検索

グループ名	説明
NIMS/物質・材料研究機構	物質・材料研究機構(NIMS)がホストする研究プロジェクト群です

グループメンバ

なし

4.5 「所属のチーム」の選択画面

- ご所属機関（組織）の画面になります。
- データセットを開設する研究チームをクリックします。

※一覧表示されているものは、既に作成された研究チームです。

グループ詳細：NIMS/物質・材料研究機構

物質・材料研究機構(NIMS)がホストする研究プロジェクト群です

グループID: 13f15f1b-9dc7-47d4-beab-9962199982da

サブグループ作成 編集 戻る

サブグループ

グループ名で検索

グループ名	説明
1130ヒアリング用	データ共有チーム、齋藤さん、李さん
DEPLOY_TEST_GROUP	モジュールデプロイ時の動作確認等テストユーザ
Matsunami_Admin_Gr	松波のみの管理者Gr
NIMS-ARIM微細加工分野	ナノファブリケーショングループの実験テスト用
NIMS-ARIM材料評価分野	ナノバースグループの実験テスト用
TEST-ARIM-maru20220729	メンバー: 丸林のみ
test-hirano-0727-1	平野、松波さん、竹村さん
test-hirano-0830-2	
test-ogura-1005	test 依頼用
TEST_ARIM_maru_inoue_20220803	メンバー: 丸林、井上さん 20220805:小柳さん追加

4. データセット開設方法

4.6 データセット開設画面

- 選択した研究チームの詳細画面になります。
- 「データセット開設」ボタンをクリックします。

グループ詳細：操作体験会用チーム

操作体験用のチームです。

グループID: c74e6863-75b1-43aa-afeb-4926b44000d6

データセット開設 編集 削除 戻る

サブグループ
なし

グループメンバ

ユーザ名	所属	役割	データセット開設	メンバ編集
MARUBAYASHI, Keiko	NIMS	研究チーム管理者	●	●
HIRANO, Masako	NIMS	研究チームメンバ		
MATSUNAMI, Shigeyuki	NIMS	研究チームメンバ		
TAKEMURA, Taro	NIMS	研究チームメンバ		

課題

課題番号	課題名
3PMXP1222NM4922	体験会用の課題

研究資金番号
なし

4.7 データセットテンプレートの選択画面

- データセットテンプレートを選択する画面（データセットテンプレート一覧）になります。
- 開設するデータセットの目的とする装置に適したデータセットテンプレートを選択する必要があります。
- 「選択」ボタンをクリックします。

データセットテンプレート一覧

事業: マテリアル先端リサーチインフラ事業

装置: (未選択) **選択**

☐ 装置を使用しないデータセット

データセット種別: データセット種別を選択してください。▼

検索 リセット

開設取消

4. データセット開設方法

4.8 装置選択画面

- 装置選択※の画面になります。
- 機関：ご所属の機関をプルダウンから選択します。
- 「検索」ボタンをクリックします。
検索結果に出てきた装置の中から、目的の装置のラジオボタンをクリックします。
- 「選択」ボタンをクリックします。

検索条件

機関: 物質・材料研究機構

事業: マテリアル先進リサーチインフラ事業

装置タイプ: 計測装置 > 分光 > 紫外・可視分光

ローカルID: 装置内で有効な装置のIDを入力してください。

装置: 装置を入力してください。

検索

検索結果

装置(登録名)	メーカー名	型番名・品番	機関	事業	ローカルID	装置タイプ	
☐	分光光度計	日立ハイテック	U-2900	物質・材料研究機構	マテリアル先進	NM-009	紫外・可視分光

Showing 1 to 1 of 1 entries

選択

※装置選択においては、装置タイプや、ローカルID (ARIM の装置 ID)、装置名を入れて、より絞り込むことも可能です。

4.9 データセットテンプレートの選択画面

- データセットテンプレート一覧画面で、先ほど選択した装置が選ばれています。
- 「検索」ボタンをクリックすると、選択した装置に紐づいているデータセットテンプレートが出てきます。
- 使用するデータセットテンプレートをクリックします。

データセットテンプレート一覧

事業: マテリアル先進リサーチインフラ事業

装置: 分光光度計

データセット種類: データセット種類を選択してください。

検索

検索結果

対象装置	データセット種類	テンプレート名	バージョン	説明	データ構造化
分光光度計	構造解析・リファレンス	ARIM-R5_NM-009_20240308	024.03.08	v5運用版	あり
分光光度計	構造解析・リファレンス	ARIM-NM-009_20230308	2023.03.08	メーカー名: 日立ハイテック, 型番: U-2900, テンプレート: 紫外・可視分光	あり

Showing 1 to 2 of 2 entries

v5 版に対応したデータセットテンプレートを選択してください。
v5 版のテンプレートは
・テンプレート名: ARIM-R5_*****
・説明: v5 版であることが記載
となっています。

4. データセット開設方法

4.10 データセットの基本情報の入力画面

- データセットの基本情報を入力する画面になります。
- 一連の入力が終わりましたら、「次へ」ボタンをクリックします。

(代理開設)データセット基本情報入力

データセットテンプレート

データセットテンプレート名: ARJ4-BS_NIM-009_20240308 : 2024.03.08

データセット種別: 構造解析・リファレンス型

データ開示化: あり

対象装置: 分光光度計

事業: マテリアル先端リサーチデザイン事業

課題番号: 課題番号を選択してください。

課題名: (未選択)

データセット名: データセット名を入力してください。

グループ: 操作体験会用チーム

データセット開設者(所属): MARUBAYASHI, Keiko (NIMS)

データセット管理者(所属): MARUBAYASHI, Keiko (NIMS)

エンバゴ期間終了日: YYYY-MM-DD

公開範囲: 共有範囲

追加設定

データセット名
課題名など、適切な名前を入力します。(変更可です)

課題番号
研究チームに紐づいている課題番号のみ選べます。

データセット管理者*
研究チームのメンバの中から選びます。(変更不可です)
※大学であれば教職員の方、企業であれば管理職の方などを想定
P27 4.13 参照

エンバゴ期間終了日
エンバゴ期間の終了日をカレンダーから選択します。
エンバゴ期間は、通常2年※です。
※開設日から2年後の日の属する年度の年度最終日がエンバゴ期間終了日です。
P27 4.13 参照

共有範囲
初期値から変更しません。

追加設定
データセットの秘匿化を行う場合にチェックを入れます。
※秘匿化には申請が必要です。
P85 Q&A 参照

4.11 データセット入力内容の確認画面

- 入力内容の確認画面になります。
- 入力内容を確認し、「開設」ボタンをクリックします。
- 入力内容を変更する場合は、「戻る」ボタンをクリックしますと、前の「(開設) データセット基本情報入力」画面に戻ります。

(開設)データセット開設確認

データセットテンプレート

データセットテンプレート名: 基本_UV-Hatch_0810 : 1.0

データセット種別: 構造解析・リファレンス型

データ開示化: あり

対象装置: 分光光度計

事業: マテリアル先端リサーチデザイン事業

課題番号: JPMXP1222NH4922

課題名: 体験会用の課題

データセット名: 操作体験会用のデータセット

グループ: 操作体験会用チーム

データセット申請者(所属): MARUBAYASHI, Keiko (NIMS)

データセット管理者(所属): MARUBAYASHI, Keiko (NIMS)

エンバゴ期間終了日: 2025-03-31 JST

公開範囲: 共有範囲

追加設定: マテリアル先端リサーチデザイン事業

開設

戻る

開設取消

P27 4.13 参照

4. データセット開設方法

4.12 データセットが開設された画面

- データセットが開設されました。

データセット詳細：データセット名が表示されます

データセット削除 データ一覧 戻る

現在表示されているデータセットは未リリースです。

データセット基本情報 データカタログ メタデータ項目リスト

編集

データセットID: [REDACTED]

所属: マテリアル先端リサーチインフラ事業

課題番号: [REDACTED]

課題名: [REDACTED]

データセット開設者(所属): MARUBAYASHI, Keiko (NIMS)

データセット管理者(所属): MARUBAYASHI, Keiko (NIMS)

データセットの説明

関連データセット

データセット引用の書式

問い合わせ先

エンバゴ期間終了日: [REDACTED]

タグ/ノミー

開設日時: [REDACTED]

公開日時: [REDACTED]

最終更新日時: [REDACTED]

データセットテンプレート

データセットテンプレート名: [REDACTED]

データセット種類: 産学協研・リファレンス型

データ横断性: あり

対象装置: [REDACTED]

利用履歴

	金体	表示中のVec
データセット閲覧数	38	36
データセットダウンロード回数	1	1
データセットサイズ	5.42 MB	5.42 MB

Download

タグ

ライセンス

バージョン

未リリース

関連情報

4.13 データセット開設についての補足

※1 データセット管理者

データセットの管理責任者。研究チームの「研究チーム管理者」、「研究チーム管理者代理」、「研究チームメンバ」のいずれかの役割（ロール）を与えられている人がなれます。

データセットに対するデータ登録、データ閲覧、データ DL、データ削除が可能です。

※2 エンバゴ期間終了日

開設日から2年後の日の属する年度の年度最終日

（計算方法）

例1：開設日：2023年4月1日

開設日から2年後の日：2025年4月1日

2025年4月1日が属する年度の年度最終日：2026年3月31日

よって、エンバゴ期間終了日は、「2026年3月31日」となります。

例2：開設日：2024年3月31日

開設日から2年後の日：2026年3月31日

2026年3月31日が属する年度の年度最終日：2026年3月31日

よって、エンバゴ期間終了日は、「2026年3月31日」となります。

5. データ登録方法

5.1	RDE データ登録アプリへのアクセス画面	P29
5.2	仕掛データセット一覧画面	P29
5.3	装置条件で登録先データセットの選択画面	P29
5.4	利用装置を所有する機関の選択画面	P30
5.5	装置に紐づいているデータセットの選択画面	P30
5.6	送り状入力画面	P31
5.7	送り状入力 基本情報の入力	P31
5.8	送り状入力 試料情報の入力	P32
5.9	送り状入力 固有情報の入力	P32
5.10	送り状入力 データファイルの登録	P33
5.11	送り状入力 添付ファイルの登録	P33
5.12	内容確認画面	P34
5.13	データ登録状況詳細画面	P35

5. データ登録方法

5.1 RDE データ登録アプリへのアクセス画面

- データ登録アプリ (<https://rde-entry-arim.nims.go.jp/>) にブラウザでアクセスします。
- DICE アカウントまたは NIMS アカウントでログインします。

5.2 仕掛データセット一覧画面

- 仕掛データセット一覧画面が表示されます。

仕掛データセット一覧

検索条件

装置 (未選択) 選択

☐ 装置を使用しないデータセット

データセット名 データセット名を入力してください。

課題番号 課題番号を入力してください。

課題名 課題名を入力してください。

検索 リセット

5.3 装置条件で登録先データセットの選択画面

- 検索条件に、対象装置を入れるため、「選択」ボタンをクリックします。

仕掛データセット一覧

検索条件

装置 (未選択) 選択

☐ 装置を使用しないデータセット

データセット名 データセット名を入力してください。

課題番号 課題番号を入力してください。

課題名 課題名を入力してください。

検索 リセット

※装置条件から検索する以外に、
● データセット名
● 課題番号
● 課題名
を直接入力して検索することもできます。

5. データ登録方法

5.4 利用装置を所有する機関の選択画面

- 「機関」で、利用する装置を所有する機関を選び、「検索」ボタンをクリックします。
- 検索結果で出てきた装置のうち、目的の装置のラジオボタンをクリックします。
- 「選択」ボタンをクリックします。

装置選択

検索条件

機関: 物質・材料研究機構

事業: マテリアル先進リサーチインフラ事業

装置タイプ: (未選択) [選択]

ローカルID: 事業内で有効な装置のIDを入力してください。

装置: 分光光度計

[検索] [リセット]

検索結果

装置(登録名)	メーカー名	販売名・型番	機関	事業	ローカルID	装置タイプ
☒ 分光光度計	日立ハイテック	U-2900	物質・材料研究機構	マテリアル先進...	NM-009	紫外・可視分光
☐ フーリエ変換赤外分光光度計	島津製作所	IRTracer-100	物質・材料研究機構	マテリアル先進...	NM-011	赤外分光

Showing 1 to 2 of 2 entries

[選択]

※装置の検索においては、装置タイプやローカルID、装置名でさらに絞り込むことも可能です。

5.5 装置に紐づいているデータセットの選択画面

- 選択した装置情報が、検索条件に入ります。
- 「検索」ボタンをクリックします。
- 装置に紐づいているデータセットが出てきます。
- 目的のデータセットの行をクリックします。

仕掛データセット一覧

データ登録状況一覧

検索条件

装置: 分光光度計

データセット名: データセット名を入力してください。

課題番号: 課題番号を入力してください。

課題名: 課題名を入力してください。

[検索] [リセット]

データセット名

データセット名	課題番号	課題名	データセット管理者	対象装置	更新日時(25T)
NM-009_UV(分光光度計)_11/30にア...	3PMXP1222NM4922	架空課題_凡例_1130	MARUBAYASHI, Kei...	分光光度計	2022-11-30 11:42:43
☒ 操作体験用のデータセット	3PMXP1222NM4922	体験会用の課題	MARUBAYASHI, Kei...	分光光度計	2022-12-05 11:37:56

5. データ登録方法

5.6 送り状入力画面

- 登録するデータの情報を入力するための「送り状入力」画面になります。

送り状入力 操作体験会用のデータセット

データセットタイプ 構造解析・リファレンス型 更新日時 2022-12-05 11:37:56 JST

対象装置 分光光度計

課題番号/課題名 JPMXP1222NM4922/体験会用の課題

基本情報

記入年月日 2022-12-05 JST

装置 分光光度計

データ投入者(所属) MARUBAYASHI,Keiko(NIMS)

データ所有者(所属) MARUBAYASHI,Keiko (NIMS)

データ名 データ名を入力してください。

実験ID 実験IDを入力してください。

説明 説明を入力してください。

送り状入力画面は、
● 基本情報
● 試料情報
● 固有情報
● 実験データアップロード欄
で構成されています。

5.7 送り状入力 基本情報の入力

- 基本情報を入力します。

送り状入力：操作体験会用のデータセット

データセットタイプ 構造解析・リファレンス型 更新日時 2022-12-05 11:37:56 JST

対象装置 分光光度計

課題番号/課題名 JPMXP1222NM4922/体験会用の課題

基本情報

記入年月日 2022-12-05 JST

装置 分光光度計

データ投入者(所属) MARUBAYASHI,Keiko(NIMS)

データ所有者(所属) MARUBAYASHI,Keiko (NIMS)

データ名 データ名を入力してください。

実験ID 実験IDを入力してください。

説明 説明を入力してください。

データ投入者
ログインの方が自動
表示されます。

記入年月日
自動入力です。

装置
対象装置をプルダウンから選択します。
(データセットの選択で装置から選んだ場合は、
目的の装置名が自動入力されます)

データ所有者
研究チームメンバーの中からプルダウンで
選択します。

データ名
適切なデータ名を
入力します。

実験ID
任意です。

説明
任意です。

5. データ登録方法

5.8 送り状入力 試料情報の入力

- 試料情報を入力します。

The screenshot shows a web form for entering sample information. The form is titled '試料情報' (Sample Information). It contains several input fields and buttons, with yellow callout boxes providing instructions for each:

- 試料ID** (Sample ID): A dropdown menu with '(新規登録)' (New Registration) selected. Callout: '新規試料の場合、データ登録時に自動で振られます。' (For new samples, it is automatically assigned during data registration).
- 試料名** (Sample Name): A text input field. Callout: '試料名を入力します。' (Enter the sample name).
- 化学式・組成式・分子式など** (Chemical formula, composition formula, molecular formula, etc.): A text input field. Callout: '化学式・組成式・分子式など任意です。' (Chemical formula, composition formula, molecular formula, etc. are optional).
- 試料管理者(所属)** (Sample manager (affiliation)): A dropdown menu. Callout: '試料管理者 試料の管理者を研究チームメンバーからプルダウンで選択します。' (Sample manager: Select the sample manager from the research team members using the pull-down menu).
- 参考URL** (Reference URL): A text input field. Callout: '参考URL 任意です。' (Reference URL is optional).
- 関連試料** (Related samples): A section with a '関連試料を追加' (Add related samples) button and a 'タグ' (Tag) input field. Callout: 'タグ 任意です。入力してリターンで確定すると複数のタグを登録できます。' (Tag is optional. Entering and pressing return allows registering multiple tags).
- 試料の説明** (Sample description): A text area. Callout: '試料の説明 任意です。' (Sample description is optional).

5.9 送り状入力 固有情報の入力

- 固有情報を入力します。固有情報とは、データファイルからは取得できないメタデータであって、手入力で入れるものです。
- 固有情報は、対象とする装置や工程などで異なります。必須項目がある場合は、必ず入力してください。

The screenshot shows a web form for entering unique information. The form is titled '固有情報' (Unique Information). It contains several input fields and buttons, with yellow callout boxes providing instructions for each:

- サンプル形状** (Sample shape): A dropdown menu. Callout: '測定時のサンプル形状を選択してください' (Select the sample shape at the time of measurement).
- 測定雰囲気** (Measurement atmosphere): A dropdown menu. Callout: '測定雰囲気を選択してください' (Select the measurement atmosphere).
- 前処理** (Pre-treatment): A text input field. Callout: '前処理があれば記入してください' (If there is pre-treatment, please enter it).
- 備考** (Remarks): A text area. Callout: '測定にかかる特記事項があれば記入してください' (If there are special notes regarding the measurement, please enter them).

5. データ登録方法

5.10 送り状入力 データファイルの登録

- 登録するデータファイル(※)をドラッグ&ドロップするか、「ファイル選択」からデータファイルを選びます。
- 添付ファイルがない場合には、「内容確認」ボタンをクリックします。
- 添付ファイルがある場合には「5.11」に進みます。

登録ファイル

登録ファイルをドラッグアンドドロップしてください。

ファイル選択

添付ファイル

添付ファイルをドラッグアンドドロップしてください。

ファイル選択

内容確認 キャンセル

データ構造化の対象データファイルは、装置や工程ごとに異なります。適切な拡張子のデータファイルを選択して、登録してください。

5.11 送り状入力 添付ファイルの登録

- 添付ファイルを登録する場合には、添付ファイル欄に添付ファイルをドラッグ&ドロップするか、「ファイル選択」から添付ファイルを選びます。
- 「内容確認」ボタンをクリックします。

登録ファイル

登録ファイルをドラッグアンドドロップしてください。

ファイル選択

添付ファイル

添付ファイルをドラッグアンドドロップしてください。

ファイル選択

内容確認 キャンセル

添付ファイル

添付ファイルとして、データ構造化対象外のファイルを登録することができます。
添付ファイルがない場合、投入不要です。

5. データ登録方法

5.12 内容確認画面

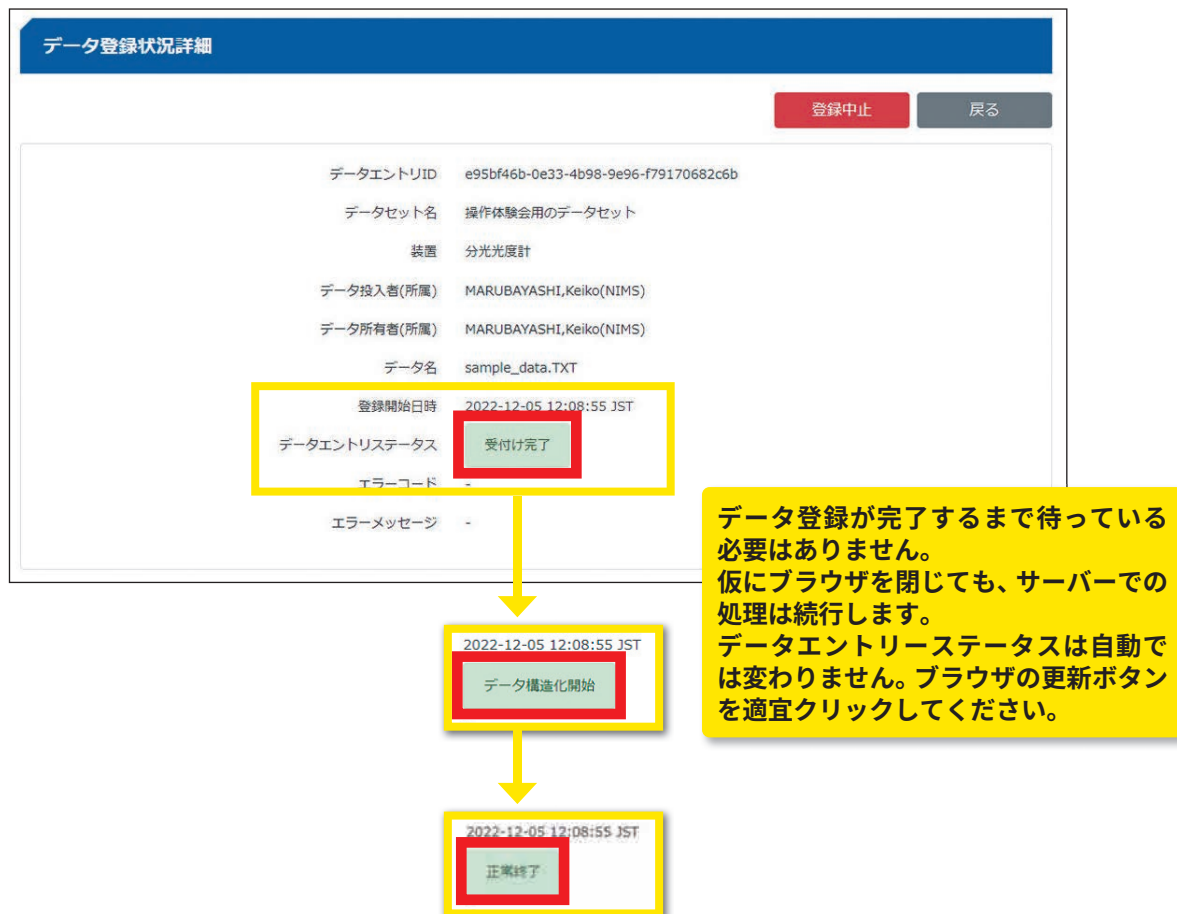
- 入力内容を確認し、間違いがなければ、「登録開始」ボタンをクリックします。

[illegible]

5. データ登録方法

5.13 データ登録状況詳細画面

- データ登録状況詳細画面に移ります。
- データエントリスステータスは、「受付完了」→「データ構造化開始」→「正常終了 or 異常終了」と変わり、
- 「正常終了」で終われば、データ登録完了です。



- データ登録が異常終了した場合には、以下のお問い合わせ先にご連絡ください。
DICE お問い合わせフォーム (<https://dice.nims.go.jp/contact/form.html>)

The screenshot shows the DICE contact form. The header includes the DICE logo and navigation links: データサービス, DICEとは, 利用方法, NEWS, お知らせ, 関連サイト, お問い合わせ. The form title is 'お問い合わせ フォーム'. The instructions state: 'お問い合わせは、以下のフォームからお申し込みします。サービスの内容については、お問い合わせの前に下記の「よくあるご質問」をご確認ください。' Below the instructions are links: '本サイトおよびサービス全体に関すること' and 'NIMS 機関・経路データベース (NIMNav) に関すること'. A note mentions: '※本サイトは日本語及び英語にのみ対応しています。日本語又は英語以外でフォームに入力すると、文字化けしてお問い合わせ内容を掲載することができません。ブラウザの自動翻訳機能を使ってサイトを閲覧している方はご注意ください。' The form fields include: 氏名 (dropdown), お名前 (text), 所属 (text), E-mail (text), E-mail (確認) (text), 対象サービス (dropdown), and 内容 (text area). A '確認する' button is at the bottom.

6. データ閲覧方法

6.1	RDE データ閲覧アプリへのアクセス (省略、同 3.1)	P37
6.2	データセット一覧の画面	P37
6.3	登録データの一覧画面	P37
6.4	データの詳細確認	P38
6.5	データ詳細画面の表示	P38
6.6	概要タブについて	P39
6.7	メタデータ情報について	P39
6.8	ファイルタブについて	P40
6.9	データ詳細の添付ファイルタブについて	P40

6. データ閲覧方法

6.1 RDE データ閲覧アプリへのアクセス (省略、同 3.1)

6.2 データセット一覧の画面

- データ登録を行ったデータセットをクリックします。

データセット一覧

グループ閲覧・データセット開設 ▾

データセット名, データセット説明, 課題番号, 課題名, 装置名, 装置ローカルID, データセット管理者名, 試料名, タグなどを入力してください 🔍

> 条件指定

最新情報

操作体験会用のデータセット データ一覧

概要 タグ

データセット種別 構造解析・リファレンス型

データセット管理者(所属) MARUBAYASHI, Keiko (NIMS)

課題番号 3PMXP1222NM4922

最終更新日時 2022-12-05 11:37:56 JST

6.3 登録データの一覧画面

- データセット詳細画面の「データ一覧」ボタンをクリックします。

データセット詳細: 操作体験会用のデータセット

データセット削除 データ一覧 戻る

現在表示されているデータセットは未リリースです。

データセット基本情報 データカタログ メタデータ項目リスト

編集

データセットID 76923fce-c736-4d25-b719-0bd6e4e5f15e

事業 マテリアル先導リサーチインフラ事業

課題番号 3PMXP1222NM4922

課題名 体験会用の課題

データセット申請者(所属) MARUBAYASHI, Keiko (NIMS)

データセット管理者(所属) MARUBAYASHI, Keiko (NIMS)

データセットの説明

関連データセット

データセット引用の書式

問い合わせ先

エンバーク期間終了日 2025-03-31 JST

利用履歴

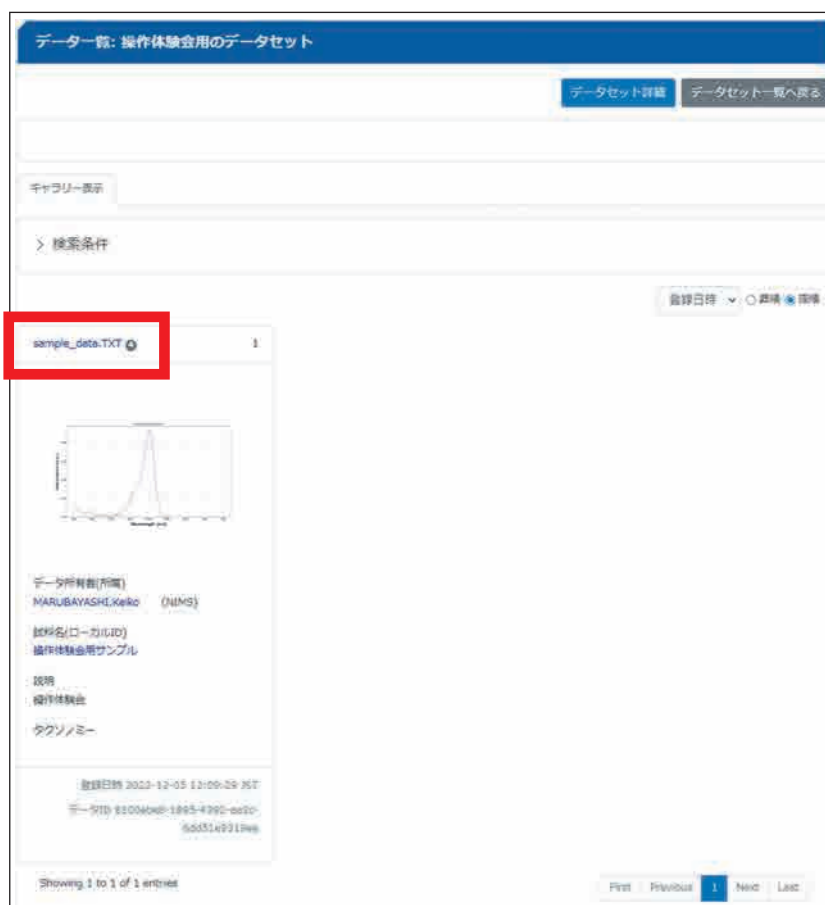
	全体	表示中のVer.
データセット閲覧数	3	3
データセットダウンロード回数	0	0
データセットサイズ	468 kB	468 kB

Download

6. データ閲覧方法

6.4 データの詳細確認

- 詳細を確認したいデータの、データ名をクリックします。



6.5 データ詳細画面の表示

- データ詳細では、データ登録時に設定した送り状の値の他、データ構造化で生成されたファイルも閲覧できます。

データ詳細画面は、
● データ概要
● ファイル
● 添付ファイル
の3つのタブがあります。



6. データ閲覧方法

6.6 概要タブについて

概要タブでは、
●グラフ等のサムネイル
●登録データのメタデータ
を確認することができます。



6.7 メタデータ情報について

データのメタデータの情報です。

※日本語名の右横に「🇯🇵」のマークがついているものは、送り状入力画面において、手入力で入れたメタデータ（手入力項目）です。

項目	日本語名	英語名	単位	値1
基本情報	記入年月日	Date of Data Entry		2023-10-01 JET
	データ所有者(所属)	Data Owner (Affiliation)		MAHARAJA'S KALIA (NIMS)
	データ名	Data Name		sample_data.TXT
	実験ID	Experiment ID		1234
試薬情報	説明	Description		操作体験用
	登録名	Registration Name		操作体験用
	機関	Organization		化学・物理研究所
試料情報	説明	Description		
	試料名(ローカルID)	Sample Name (Local ID)		操作体験用サンプル
	化学式・組成式・分子式など	Chemical Formula etc.		
固有情報	試料の説明	Description		
	サンプル	Sample		ローグサンプル
	測定日	Date		2023-09-01
コメント	コメント	Comment		
	分子式	Chemical Formula		U-2900型分光光度計
	シリアル番号	Instrument Serial Number		7700-010
	測定モード	Measurement Mode		吸収計
	データモード	Data Mode		Auto
	波長	Wavelength	nm	750.0
	波長	Wavelength	nm	750.0
	スキャンスピード	Scanning Speed	nm/min	100.0
	サンプリング間隔	Sampling Interval	nm	1.0
	スリット幅	Slit Width	nm	1.0
	セル長	Cell Length	mm	10.0
	セル	Cell		
	セル名	Cell Name		
	材料名	Material name		
	物質名(登録)	Substance Name		
	有機物 / 無機物	organic / inorganic / both		
	物質名 / 状態	substance / state		

🇯🇵 送り状で登録されたメタデータを示す

6. データ閲覧方法

6.8 ファイルタブについて

データ詳細：操作体験会用のデータセット：sample_data.TXT

データ削除 データダウンロード データ一覧へ戻る

概要 **ファイル** 添付ファイル

No.	ファイル種別	ファイル名	ファイル登録日(JST)	サイズ
1	主要パラメータ情報ファイル	sample_data.json	2022-12-05	1.1 KB
2	構造化ファイル	sample_data_extract.csv	2022-12-05	
3	構造化ファイル	sample_data_peaklist.csv	2022-12-05	
4	代表画像ファイル	sample_data_extract.png	2022-12-05	

Showing 1 to 4 of 4 entries

ファイルタブでは、
●Raw データファイル
●データ構造化により作成されたファイル
●画像ファイル
の一覧を確認することができます。

画像ファイルの右横の「」をクリックすると、画像を表示させることができます。

6.9 データ詳細の添付ファイルタブについて

- 添付ファイルタブでは、後から登録した関連ファイルの一覧を確認することができます。

データ詳細：操作体験会用のデータセット：sample_data.TXT

データ削除 データダウンロード データ一覧へ戻る

対象データが存在しません。

概要 ファイル **添付ファイル**

添付ファイルの登録の方法はP48の「11. 添付ファイルの登録方法」を参照してください。

P52 11 参照 

7. データのダウンロード方法

- 7.1 全データの一括ダウンロードをする場合 P42
- 7.2 特定のデータだけをダウンロードする場合 P42

7. データのダウンロード方法

7.1 全データの一括ダウンロードをする場合

- データセット詳細画面の利用履歴欄にある「Download」ボタンをクリックします。
- zip ファイルでダウンロードされます。

データセット詳細：操作体験会用のデータセット

データセット削除 データ一覧 1 戻る

現在表示されているデータセットは未リリースです。

データセット基本情報 データカタログ メタデータ項目リスト

編集

データセットID 76923fce-c736-4d25-b719-0bd6e4e5f15e

事業 マテリアル先端リサーチインフラ事業

課題番号 JPMXP1222NM4922

課題名 体験会用の課題

データセット申請者(所属) MARUBAYASHI, Keiko (NIMS)

データセット管理者(所属) MARUBAYASHI, Keiko (NIMS)

データセットの説明

関連データセット

データセット引用の書式

問い合わせ先

エンバコ期間終了日 2025-03-31 JST

利用履歴

	全体	表示中のVer.
データセット閲覧数	4	4
データセットダウンロード回数	0	0
データセットサイズ	468 kB	468 kB

Download

7.2 特定のデータだけをダウンロードする場合

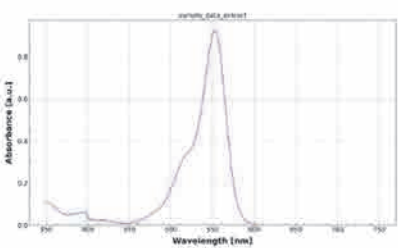
- データ詳細画面の「データダウンロード」ボタンをクリックします。
- zip ファイルでダウンロードされます。

データ詳細：操作体験会用のデータセット：sample_data.TXT

データ削除 データダウンロード データ一覧へ戻る

概要 ファイル 添付ファイル

送り状編集



sample_data_extract.png

サムネイルをクリックすると画像が表示されます。

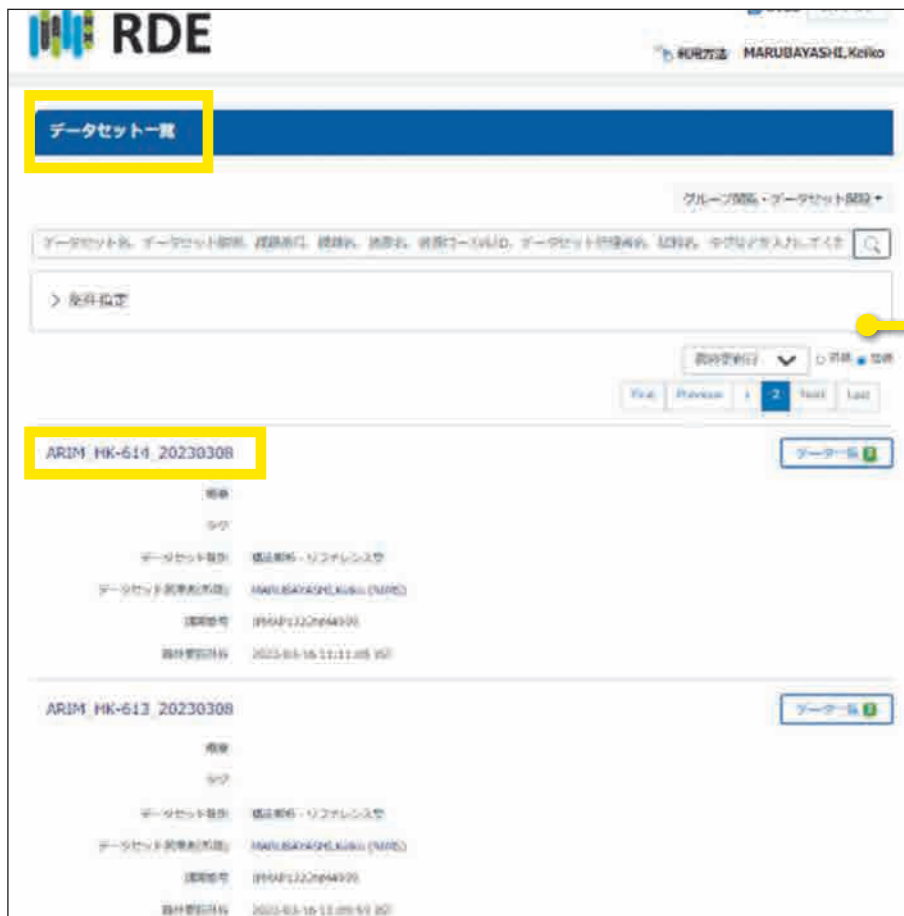
8. データセット基本情報の編集方法

8.1	編集したいデータセットの選択	P44
8.2	編集画面の表示	P44
8.3	基本情報の編集及び保存	P45

8. データセット基本情報の編集方法

8.1 編集したいデータセットの選択

- セータセット編集権限を有するロールのアカウントでRDEデータ閲覧アプリにログインします。
- データセット一覧から、編集したいデータセットのデータセット名をクリックします。

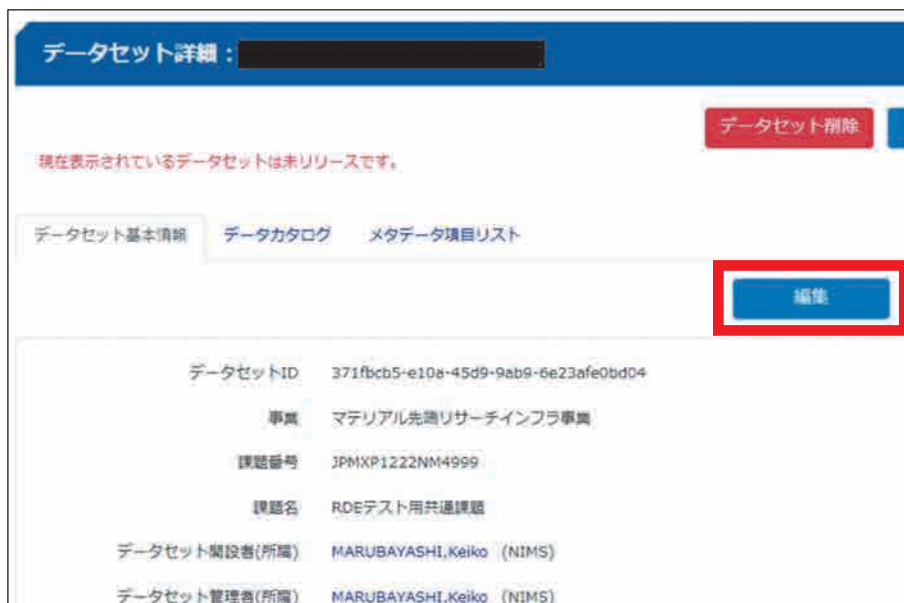


データセット基本情報を編集できるロール(権限)

- ・データセット管理者
- ・研究チーム管理者
- ・研究チーム管理者代理

8.2 編集画面の表示

- データセット基本情報における「編集」ボタンをクリックします。



8. データセット基本情報の編集方法

8.3 基本情報の編集及び保存

- 編集可能項目について、修正や追記を行います。
- 画面下部の「保存」ボタンをクリックします。

データセット基本情報編集 : TEST_SmS-R5_OS-115_20240508

データセットID: 9ed0c15-0f5e-4036-9def-83468e341bb7

事業: マテリアル先端リサーチデザイン事業

課題番号 JPMXP1222NM4999

課題名: RDEテスト用共通課題

データセット開発者(所属): SmS 通商 (Smart Solutions株式会社)

データセット管理者(所属) SmS 通商 (Smart Solutions株式会社)

データセット名 TEST_SmS-R5_OS-115_20240508

データセットの説明: データセットの説明を入力してください。

関連情報:

関連データセット: データセットを選択またはIDを入力してください。
同じ課題番号のデータセットをすべて追加

タグ: タグを入力してください。

利用ライセンス: 利用ライセンスを選択してください。

データセット引用の書式: データセット引用の書式を入力してください。

問い合わせ先: 問い合わせ先を入力してください。

エンバゴ期間終了日 ☐ 2027/5/31 15T
(開榜は変更できません)

タクソノミー: データセットの構造を決めるキーを入力してください。
集約の場には集約用のタクソノミーキーに指定しないようご注意ください。

データ一覧表示: ☒ ギャラリー表示 ☐ ツリー表示

共有範囲

共有範囲	共有許可	ダウンロード許可	共有状態
ARIM広域シェア	☒	☒	☒ 共有中
データ中核拠点広域シェア	☐	☒	☐

☐ データセットを匿名化する
匿名化を有効とする場合は、タクソノミーに匿名化済みの設定されている項目を指定してください。

編集可能項目：

- ・課題番号 (プルダウンから選択) (※1)
- ・データセット管理者 (プルダウンから選択)
- ・データセット名
- ・データセットの説明
- ・関連情報 (論文など)
- ・関連データセット
- ・タグ
- ・利用ライセンス (プルダウンから選択)
- ・データセット引用の書式
- ・問い合わせ先
- ・エンバゴ期間終了日
- ・タクソノミー
- ・データ一覧表示 (ラジオボタンで選択)
- ・データセットの匿名化 (※2)

※1 課題番号の編集 (変更) において、プルダウンの選択肢自体を変更する場合にはP.74の「課題番号をそのままにして、課題名だけを変更することは可能でしょうか？」及びP.76の「新たな課題番号に変更することはできますか？」Q & Aをご覧ください。

※2 データセットの匿名化については、申請が必要です。

申請手続きについては、P.85の「データセットの秘匿化 (氏名等非表示化) の申請とはどのようなものですか？」Q & Aをご覧ください。

9. データカタログの編集方法

9.1	編集したいデータセットの選択	P47
9.2	データカタログ作成画面の表示	P47
9.3	データカタログの編集及び保存	P47

9. データカタログの編集方法

9.1 編集したいデータセットの選択

- 8.1 と同様です。
- データカタログを編集できるロール→データセット管理者、研究チーム管理者、研究チーム管理者代理

9.2 データカタログ作成画面の表示

- 「データカタログ」をクリックします。
- 「作成」ボタンをクリックします。



9.3 データカタログの編集及び保存

- 編集可能項目について、修正や追記を行います。
- 画面下部の「保存」ボタンをクリックします。

編集可能項目：

- ・ データ種類（選択）
- ・ raw データの拡張子
- ・ raw データ構造
- ・ 出力ファイルの拡張子
- ・ 出力ファイルのデータ構造
- ・ 参考文献
- ・ 備考

10. タクソノミーの編集方法

10.1	編集したいデータセットの選択	P49
10.2	タクソノミー欄の表示	P49
10.3	タクソノミーキーの記入	P49
10.4	タクソノミーキーの記入方法 [1/3] (全般、基本情報)	P50
10.4	タクソノミーキーの記入方法 [2/3] (装置情報、試料情報)...	P50
10.4	タクソノミーキーの記入方法 [3/3] (固有情報、自動取得情報)	P50
10.5	タクソノミーキー指定例 [1/2]	P51
10.5	タクソノミーキー指定例 [2/2]	P51

10. タクソノミーの編集方法

10.1 編集したいデータセットの選択

- 8.1 と同様です。
- データセットを編集できるロール→データセット管理者、研究チーム管理者、研究チーム管理者代理

10.2 タクソノミー欄の表示

- 「データセット基本情報」をクリックします。
- 「編集」ボタンをクリックします。

データセット基本情報 データカタログ メタデータ項目リスト

編集

10.3 タクソノミーキーの記入

- 「タクソノミー」にタクソノミーキーを記入します。
- 記入し終わったら「保存」ボタンをクリックします。

データセットID: 事業: マテリアル先導リサーチインフラ事業

課題番号: 追加

関連データセット: データセットを選択またはIDを入力してください 追加
同じ課題番号のデータセットをすべて追加

タクソノミー

データ一覧表示: ☒ ギャラリー表示 ☐ ツリー表示

保存 キャンセル

10. タクソノミーの編集方法

10.4 タクソノミーキーの記入方法 [1/3] (全般、基本情報)

- タクソノミーキーは、【第1タクソノミーキー】半角スペース【第2タクソノミーキー】半角スペース【第3タクソノミーキー】半角スペース・・・というように記入していきます。
- タクソノミーキーで指定した項目順に階層になり、データ一覧の表示がツリー表示(階層表示)されます。
- タクソノミーキーは、20個まで入力可能です。
- タクソノミーキーとして指定したい項目によって、タクソノミーキーの表現方法が変わります。

基本情報	
項目名	タクソノミーキー
記入年月日	invoice.basic.date-submitted
データ投入者	invoice.basic.data-owner
データ名	invoice.basic.data-name
実験ID	invoice.basic.experiment-id
説明	invoice.basic.description

10.4 タクソノミーキーの記入方法 [2/3] (装置情報、試料情報)

装置情報	
項目名	タクソノミーキー
登録名	instrument.name
機関名	instrument.organization
説明	instrument.description

試料情報	
項目名	タクソノミーキー
試料名 (ローカルID)	sample.name
化学式・組成式・分子式など	sample.composition
説明	sample.description

10.4 タクソノミーキーの記入方法 [3/3] (固有情報、自動取得情報)

- タクソノミーキーとして指定したい項目に対応するパラメータ名に半角スペースがある場合は、その項目名はタクソノミーキーとして指定できません。
- ※要件定義→invoice.schema.json ファイルのこと

固有情報 (送り状における手入力項目)	
項目名	タクソノミーキー
	invoice.custom.〈要件定義*の手入力メタデータ項目リストのパラメータ名〉

プログラムによる自動取得情報	
項目名	タクソノミーキー
	データセット詳細ページのメタデータ項目リストのパラメータ名

10. タクソノミーの編集方法

10.5 タクソノミーキー指定例 [1/2]

- タクソノミーキーを指定すると、データ一覧の表示をツリー表示（階層表示）することが可能です。

第1タクソノミーキー：測定モード [自動取得情報]



第2タクソノミーキー：STEM 像の種類 [手入力による固有情報]

第3タクソノミーキー：試料名 (ローカルID) [試料情報]

10.5 タクソノミーキー指定例 [2/2]

- データ一覧の表示をツリー表示（階層表示）例

第1タクソノミーキー 測定モード



指定したタクソノミーキーに従って、 登録データが階層表示されています。



11. 添付ファイルの登録方法

11.1	RDE データ閲覧アプリへのアクセス	P53
11.2	データへのアクセス [1/2]	P53
11.3	データへのアクセス [2/2]	P54
11.4	送り状編集	P54
11.5	添付ファイル保存	P55
11.6	添付ファイルの確認 [1/2]	P55
11.6	添付ファイルの確認 [2/2]	P56
11.7	添付ファイルが登録されている場合のデータダウンロード...	P56

11. 添付ファイルの登録方法

11.1 RDE データ閲覧アプリへのアクセス

- RDE のデータ閲覧アプリ (<https://rde.nims.go.jp/>) にブラウザでアクセスします。
- 添付ファイルを登録したいデータが登録されているデータセットをクリックします。



11.2 データへのアクセス [1/2]

- データセット詳細画面の「データ一覧」ボタンをクリックします。



11. 添付ファイルの登録方法

11.3 データへのアクセス [2/2]

- 添付ファイルを登録したいデータの、データ名をクリックします。

データ一覧: 操作体験会用のデータセット

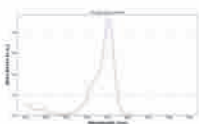
データセット詳細 データセット一覧へ戻る

ギャラリー表示

> 検索条件

登録日時: 昇順 降順

sample_data.TXT 1



データ所属(所属)
MARUBAYASHI, Keiko [NIMS]

試料名(ローカルID)
操作体験会用サンプル

説明
操作体験会

タグ/ノミナー

登録日時 2022-12-05 12:09:29 JST

データID 8100e0eb-1455-4302-aa3c-5dd51e9319ee

Showing 1 to 1 of 1 entries

Previous 1 Next Last

11.4 送り状編集

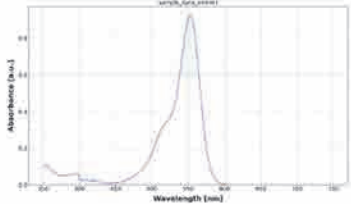
- 概要タブの「送り状編集」ボタンをクリックします。

データ詳細: 操作体験会用のデータセット: sample_data.TXT

データ削除 データダウンロード データ一覧へ戻る

概要 ファイル 添付ファイル

送り状編集



sample_data_extract.png

11. 添付ファイルの登録方法

11.5 添付ファイル保存

- 送り状編集」画面の最下部に「添付ファイル」欄があります。
- 登録する添付ファイルをドラッグアンドドロップするか、又は「ファイル選択」ボタンから、添付ファイルを選びます。

送り状編集 : TEST_ARIM_NM-601_20230208 : 0208-01

データセットタイプ 構造解析・リファレンス型 更新日時 2023-02-08 16:13:41 JST

対象装置 125kV電子ビーム描画装置

課題番号/課題名 JPMXP1222NM4922/架空課題_丸林

基本情報

記入年月日 2023-02-08 JST

装置 125kV電子ビーム描画装置

添付ファイル

添付ファイルをドラッグアンドドロップしてください

ファイル選択

保存 キャンセル

11.6 添付ファイルの確認 [1/2]

- 添付ファイルを保存したデータのデータ詳細画面の「添付ファイル」タブをクリックします。
- 保存した添付ファイルについて、ウイルススキャンが実行されます。

データ詳細 : TEST_ARIM_NM-601_20230208 : 0208-01

データ削除 データダウンロード データ一覧へ戻る

概要 ファイル 2 添付ファイル 1

Refresh

ウイルススキャン状況一覧

No.	ファイル名	ファイル登録日時(JST)	サイズ	ファイル登録者	ステータス
1	凍結乾燥_0002.txt	2023-03-15 17:43:44	792 B	MARUBAYASHI, Keiko	スキャン中

Showing 1 to 1 of 1 entries

First Previous 1 Next Last

11. 添付ファイルの登録方法

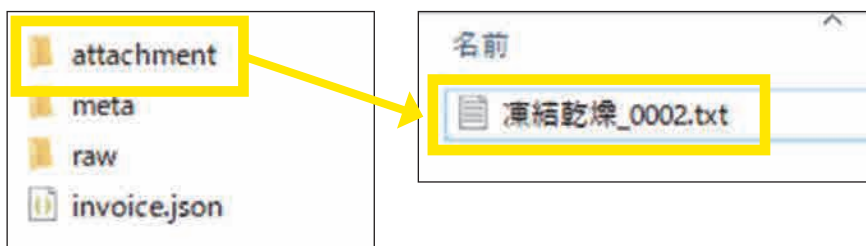
11.6 添付ファイルの確認 [2/2]

- 適宜「Refresh」ボタンをクリックします。
- ウイルススキャンが終わると、添付ファイルとして保存（登録）され、一覧表示されます。



11.7 添付ファイルが登録されている場合のデータダウンロード

- 添付ファイルが保存（登録）されている場合、データをダウンロードすると、「attachment」フォルダが含まれます。
- その「attachment」フォルダ内に、添付ファイルが格納されます。



12. 送り状入力項目の修正方法

12.1	RDE データ閲覧アプリへのアクセス	P58
12.2	データへのアクセス [1/2]	P58
12.3	データへのアクセス [2/2]	P59
12.4	送り状編集 [1/3]	P59
12.4	送り状編集 [2/3]	P60
12.4	送り状編集 [3/3]	P60
12.5	修正確認	P61

12. 送り状入力項目の修正方法

12.1 RDE データ閲覧アプリへのアクセス

- RDE のデータ閲覧アプリ (<https://rde.nims.go.jp/>) にブラウザでアクセスします。
- 送り状入力項目を修正したいデータが登録されているデータセットをクリックします。

データセット一覧

グループ閲覧・データセット閲覧

データセット名, データセット説明, 課題番号, 課題名, 装置名, 装置ローカルID, データセット管理者名, 試料名, タグなどを入力してください

> 条件指定

最新情報

操作体験会用のデータセット

データ一覧

概要

タグ

データセット種別: 構造解析・リファレンス型

データセット管理者(所属): MARUBAYASHI, Keiko (NIMS)

課題番号: 3PMXP1222NM4922

最終更新日時: 2022-12-05 11:37:56 JST

12.2 データへのアクセス [1/2]

- データセット詳細画面の「データ一覧」ボタンをクリックします。

データセット詳細: 操作体験会用のデータセット

データセット削除 データ一覧 戻る

現在表示されているデータセットは未リリースです。

データセット基本情報 データカタログ メタデータ項目リスト

編集

データセットID: 76923f3ce-c736-4d25-b719-0bd6e4e5f15e

事業: マテリアル先端リサーチインフラ事業

課題番号: 3PMXP1222NM4922

課題名: 体験会用の課題

データセット申請者(所属): MARUBAYASHI, Keiko (NIMS)

データセット管理者(所属): MARUBAYASHI, Keiko (NIMS)

データセットの説明

関連データセット

データセット引用の書式

問い合わせ先

エンバーゴ期間終了日: 2025-03-31 JST

利用履歴

	全体	表示中のVer
データセット閲覧数	4	4
データセットダウンロード回数	0	0
データセットサイズ	468 kB	468 kB

Download

12. 送り状入力項目の修正方法

12.3 データへのアクセス [2/2]

- 修正したいデータの、データ名をクリックします。

データ一覧: 操作体験用のデータセット

データセット詳細 データセット一覧へ戻る

ギャラリー表示

> 検索条件

登録日時: 〇 再帰 編集

sample_data.TXT 1



データ所有者(所属)
MARUBAYASHI, Keiko (NIMS)

試料名(ローカルID)
操作体験会用サンプル

機関
操作体験会

テクノロジー

登録日時: 2022-12-05 12:09:29 JST
データID: 810cebe8-1e99-4390-ae0c-5d8f1e5519ee

Showing 1 to 1 of 1 entries

First Previous 1 Next Last

12.4 送り状編集 [1/3]

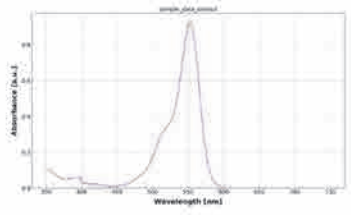
- 概要タブの「送り状編集」ボタンをクリックします。

データ詳細: 操作体験用のデータセット: sample_data.TXT

データ削除 データダウンロード データ一覧へ戻る

概要 ファイル 添付ファイル

送り状編集



sample_data_extract.png

12. 送り状入力項目の修正方法

12.4 送り状編集 [2/3]

- 送り状編集画面になります。
- 修正すべき項目について適宜修正します。

送り状編集 : TEST_ARIM_NM-601_20230208 : 0208-01

データセットタイプ: 構造解析・リファレンス型 更新日時: 2023-02-08 16:13:41 JST

対象装置: 125kV電子ビーム描画装置

課題番号/課題名: JPMXP1222NM4922/架空課題_丸林

基本情報

記入年月日: 2023-02-08 JST

装置: 125kV電子ビーム描画装置

データ投入者(所属): MARUBAYASHI,Keiko(NIMS)

データ所有者(所属) 修正: MATSUNAMI,Shigeyuki (NIMS) → MARUBAYASHI,Keiko (NIMS)

データ名 修正: 0208-01

実験ID: TEST

説明: TEST

12.4 送り状編集 [3/3]

- 修正すべき項目について、適宜修正します。
- 修正が終わったら、「保存」ボタンをクリックします。

試料情報

試料ID: 20f4f483-9d8e-45d6-9b31-4649721e58b4 ☐ 試料を新しく登録する 修正

試料名(ローカルID) 修正: test-1 → new sample 2023

☐ 試料を新しく登録する

試料名を追加

化学式・組成式・分子式など: 化学式・組成式・分子式などを自由入力してください。

試料管理者(所属) 修正: MATSUNAMI,Shigeyuki (NIMS)

参考URL: 参考URLを入力してください。

関連試料: 関連試料を追加

タグ: タグを入力してください。

試料の説明

添付ファイル

添付ファイルをドラッグアンドドロップしてください

ファイル選択

保存 キャンセル

12. 送り状入力項目の修正方法

12.5 修正確認

- 概要タブのメタ情報欄で、修正した情報が反映されているか、確認します。

修正前					修正後	
メタ情報						
分類	日本語名	英語名	単位	値1	値1	
基本情報	記入年月日	Date of Data Entry		2023-02-08 JST	2023-02-08 JST	
	データ所有者(所属)	Data Owner (Affiliation)		MATSUNAMI,Shigeyuki (NIMS)	MARUBAYASHI,Keiko (NIMS)	
	データ名	Data Name		D208-01	D208-01	
	実験ID	Experiment ID		TEST	TEST	
	説明	Description		TEST	TEST	
装置情報	登録名	Registration Name		125kV電子ビーム描画装置	125kV電子ビーム描画装置	
	機関	Organization		物質・材料研究機構	物質・材料研究機構	
	説明	Description		電子ビーム、描画、EB、リソグラフィ、ナノ、パターニング、レジスト	電子ビーム、描画、EB、リソグラフィ、ナノ、パターニング、レジスト	
試料情報	試料名(ローカルID)	Sample Name (Local ID)		test-1	new sample 2023	
	化学式・組成式・分子式など	Chemical Formula etc.				
	試料の説明	Description			試料を新しくしました。	
固有情報	基板情報	Substrate		Si/SiO2/GaAs	Si/SiO2/GaAs	
	レジスト情報	Resist		AR-P6200 DR2.5/LOR 10A/AR-P6200 DR5.0	AR-P6200 DR2.5/LOR 10A/AR-P6200 DR5.0	
	加速電圧	Acceleration Voltage	kV	75.0	75.0	
	電流値	Current	nA	30.0	30.0	
	ドーズ量	Dose Value	uC/cm^2	40.0	40.0	

13.DICE アカウント

13.1 DICE アカウント作成	P63
13.2 DICE アカウントのプロフィール修正手順	P67

13.DICE アカウント

13.1 DICE アカウント作成

DICE アカウントの作成手順

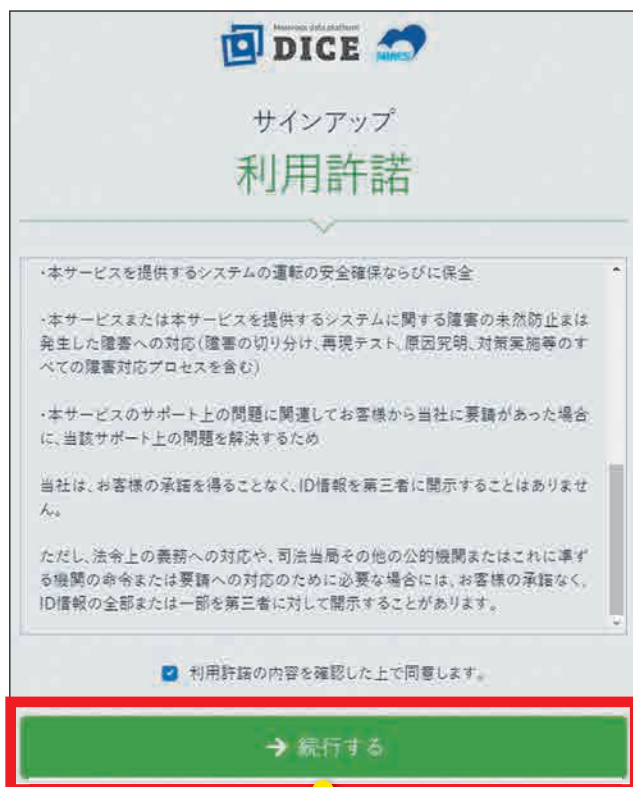
- ① サインアップ画面へのアクセス
- ② メールアドレスの入力送信
- ③ 認証及び登録
- ④ ユーザ情報を入力
- ⑤ サインアップ完了
- ⑥ ユーザ登録完了メール

① サインアップ画面へのアクセス

- <https://diceidm.nims.go.jp/csp/signedup/> にアクセスします。



利用申請開始画面の「続行する」をクリックする。



利用許諾画面での内容を確認して、「利用許諾の内容を確認した上で同意します。」にチェックを入れ、「続行する」をクリックする。

13.DICE アカウント

②メールアドレスの入力送信

- 所属機関のメールアドレスを入力し、送信します。

The screenshot shows the 'サインアップ メールアドレス登録' (Sign Up Email Address Registration) page. At the top, it says '登録が完了したメールアドレスは、今後ユーザIDとして利用します。' (The registered email address will be used as the user ID from now on). Below this, there are two input fields: 'メールアドレス' (Email Address) and 'メールアドレス(確認)' (Email Address (Confirmation)). Both fields have a red '必須' (Required) label. A green '送信する' (Send) button is at the bottom. A red box highlights the input fields and the button.

- 組織のメールアドレスのみ可
- Gmailなどのフリーメールは不可

メールアドレス（所属機関のもの）を入力して、「送信する」をクリックする。

③認証及び登録

- 認証手続きを行い、登録を開始します。



記入したメールアドレス宛に、認証コードの案内メールが来る。

The screenshot shows the 'サインアップ 認証コード' (Sign Up Verification Code) page. It prompts the user to 'メールアドレスに送信された認証コードを入力してください' (Enter the verification code sent to your email address). There are input fields for 'メールアドレス' (Email Address) and '認証コード' (Verification Code). The '認証コード' field has a red '必須' (Required) label and a note '(6桁)' (6 digits). At the bottom, there are two buttons: '← 戻る' (Back) and '登録を開始する' (Start Registration). A red box highlights the input fields and the '登録を開始する' button.

認証コード入力画面に、メールに記載された認証コードを入力し、「登録を開始する」をクリックする。

13.DICE アカウント

④ユーザ情報の入力

- ユーザ（利用者）の情報を入力します。

サインアップ
情報入力

※ 英大文字、英小文字、数字、記号の4種を使用必須、8文字以上

パスワード 必須 *****

パスワード(確認) 必須 *****

メール言語設定 必須 日本語

表示名 必須 丸井 敬子

姓(アルファベット) 必須 marubayashi

ミドルネーム(アルファベット) 2

名(アルファベット) 必須 keiko

姓(漢字) 必須 丸井

名(漢字) 必須 敬子

姓(カナ) 必須 マルバヤシ

名(カナ) 必須 ケイコ

在住国 必須 Japan

国籍 必須 Japan

所属機関 必須 物質・材料研究機構

部署名 必須 データ共用チーム

確認する

項目	説明	文字数上限
パスワード	当システムにログインする際に使用するパスワードを入力します。	
パスワード(確認)		
メール言語設定		
表示名	表示名は、氏名を入力 漢字表記か英語表記で入力 例：漢字表記：山田 太郎 英語表記：YAMADA, Taro	200
姓(アルファベット)		64
ミドルネーム(アルファベット)		64
名(アルファベット)		64
姓(漢字)	漢字やカナについても入力 ※お問い合わせをさせていただくために 必要となりますので、ご記入をお願いします	
名(漢字)		
姓(カナ)		
名(カナ)		
在住国	お住まいになっている国名です。	-
国籍	国籍です。	-
所属機関	所属機関名です。個人の方は空欄で構いません。	200
部署名	所属機関内での部署名です。個人の方は空欄で構いません。	200

サインアップに必要な情報を入力して、
DICE アカウント登録を行う。

⑤サインアップ完了

- サインアップ完了画面が表示されます。

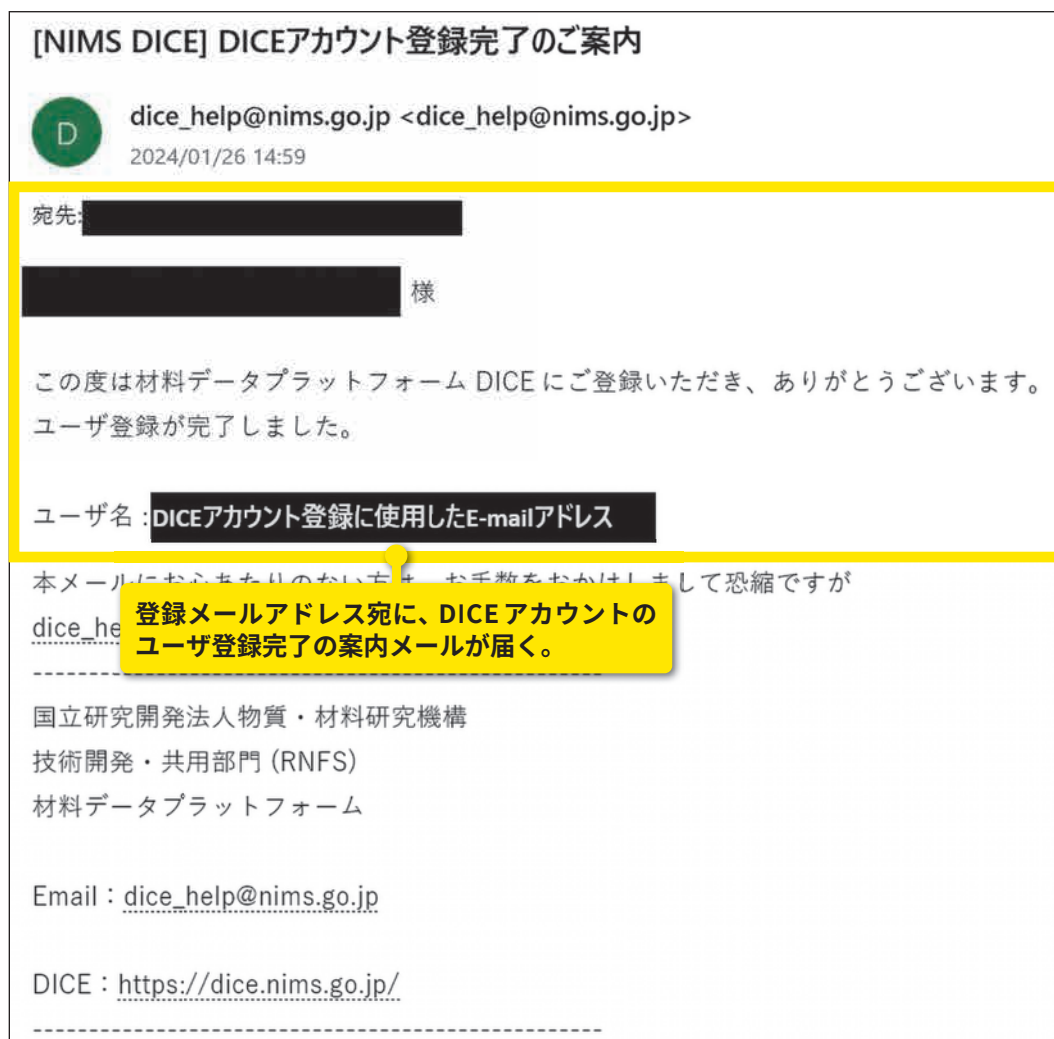


サインアップ登録完了画面が
表示される。

13.DICE アカウント

⑥ ユーザ登録完了メール

- DICE アカウントとして登録したメールアドレス宛に登録完了案内メールが届きます。



〈ご注意〉

DICE アカウントのユーザ登録完了のメール文中に

「DICE 利用者ポータルにログインして、ご希望のサービスの利用申請を行ってください。

<https://diceidm.nims.go.jp/csp/csp-user-portal>」

と表記されておりますが、こちらは無視してください

この完了メールの到着で DICE アカウントは作成完了しています

一般ユーザには各機関の RDE 利用申請方法に従いご案内ください

管理スタッフは NIMS データ共用事務局までご申請ください

※ DICE アカウントは RDE だけでなく、他の様々な NIMS のデータベースサービスに利用されています。
そのためにこのような表記があります。

13.DICE アカウント

13.2 DICE アカウントのプロフィール修正手順

DICE アカウントのプロフィール修正手順

- ① DICE 利用者ポータルへのアクセス
- ② プロフィール画面の表示
- ③ 修正及び保存

① DICE 利用者ポータルへのアカウント

- Web ブラウザのアドレスバーに (<https://diceidm.nims.go.jp/csp/csp-user-portal>) を入力します。

13.DICE アカウント

②プロフィール画面の表示

- DICE 利用者ポータル画面が表示される。



③修正及び保存

- プロフィール情報の入力画面が表示される。

The screenshot shows the 'DICE 利用者ポータル' profile editing page. The 'プロフィール' tab is selected. The page contains various input fields for user information. A yellow callout box on the left states: 必要な項目について、修正を行う。 (For required items, make corrections). A blue callout box points to the '表示名' (Display Name) field with the text: 表示名は、氏名を入力
漢字表記か英語表記で入力
例：漢字表記：山田 太郎
英語表記：YAMADA, Taro. A green callout box points to the '姓(漢字)', '名(漢字)', '姓(カナ)', and '名(カナ)' fields with the text: 漢字やカナについても入力
※お問い合わせをさせていただくために
必要となりますので、ご記入をお願いします. At the bottom, a red box highlights the '保存する' (Save) button, with a yellow callout box stating: 「保存する」をクリックする。

14.RDEに関するFAQ集

14.1	DICE アカウントについて	P70
14.2	データセットの開設にかかる事項	P71
14.3	データ登録にかかる事項	P80
14.4	入力情報について	P86
14.5	試料情報について	P88
14.6	テンプレート・メタデータについて	P89
14.7	データ削除にかかる事項	P91
14.8	非共用、共用（広域シェア）について	P92
14.9	システムにかかる事項	P93

14.RDEに関するFAQ集

14.1 DICE アカウントについて

Q DICE アカウントとは何ですか？

A DICE (ダイス) とは NIMS が提供するデータ基盤 (プラットフォーム) のサービス名です。そのプラットフォームに含まれる MatNavi 等の各種の材料開発アプリケーションをご利用いただくときに必要となるのが DICE アカウントとなります。

ARIM では材料開発アプリケーションのうちデータ構造化システム (サービス名: RDE) を使っています。RDE でのデータ登録等で DICE アカウントが必要となります。

Q DICE アカウントはどのように取得できますか？

A DICE アカウントは専用のサインアップ画面^(※1)があります。ユーザーは自分でそのアカウントを取得することができます。

※1 <https://diceidm.nims.go.jp/csp/signedup/start>
本マニュアルの P62 もご参照ください。

Q 一般ユーザー向けの DICE アカウント申請の仕方について、もう少しシンプルな案内がありますか？

A DICE ページの下記のリンクをご参照ください。
https://dice.nims.go.jp/DICE_Account_Registration.pdf

Q 管理スタッフになるのはどういう手続きですか？

A 各機関の管理スタッフになるには NIMS 側に申請していただくことになります。

Q 機関の管理スタッフの変更は各機関ではできないのですか？

A 機関の管理スタッフの権限はセンターハブが付与するので、機関では変えることができません。

Q 認証におけるログインはメールアドレスのみでしょうか？

A メールアドレスのみとなります。

14.RDEに関するFAQ集

14.2 データセットの開設にかかる事項

Q データセット開設での「研究チーム」とは何ですか？

A ARIM では、課題利用申請者およびその申請連名者からなるグループと考えてください。研究チームに付ける名前自体は任意に設定できます。例えば何々研究室とか、何々株式会社とか、それは管理スタッフ側で自由に設定することができます。

Q データセットの開設において、研究チームの登録は手入力ではなく csv などによる流し込み（インポート）などで行えるのですか？

A 残念ながら研究チーム作成時においてはそのような機能はありません。しかし、研究チームへのメンバ追加等に関しては、CSV による流し込み（インポート）機能が実装されました。csv による流し込み（インポート）については、P.18 をご覧ください。

Q データセットの開設は誰が行うのですか？ユーザー、それとも ARIM のスタッフですか？

A データセット開設は、基本的には ARIM スタッフが行うことを想定しております。

Q 研究チームにメンバーを追加するにはどうすればよいのですか？

A RDE を使うにはまず DICE アカントを作る必要があります、その DICE アカントを作る際に登録したメールアドレスが有効なものとして認識されます。メンバーの追加は、その DICE アカントで登録したメールアドレスを入力して行います。

Q 研究チーム作成のときのロール設定について教えてください

A チームメンバーの役割（ロール）については以下になっており、役割によってできることが違います。

ロール	権 限
研究チーム管理者	研究チームの代表責任者。（論文であれば Corresponding に相当） ● 研究チームが所有する全てのデータセットへのデータ登録、データ閲覧、データ DL、データ削除が可能。 ● 権限を付与すれば、データセット開設や研究チームメンバー編集も可能。
研究チーム管理者代理	研究チームの代表責任者代理。 ● 研究チーム管理者と同等の権限を有する。

14.RDEに関するFAQ集

ロール	権 限
研究チームメンバー	研究チームを構成する方々。 ● 研究チームが所有する全てのデータセットに対してデータ登録、データ閲覧、データ DL が可能。 ● ただし、データの削除は不可。
データ登録代行者	データ登録を代理で行う者。(ARIM では事業者側のスタッフを想定) ● データ登録のみを許可。 ● データ閲覧、データ DL、データ削除は不可。
データ閲覧者	● 研究チームが所有する全てのデータセットのデータ閲覧及びデータ DL が可能。 ● データ登録、データ削除は不可。

Q 最初の研究チームを作る際に管理者を決めるチェックボックスがあり、その後またデータセット管理者という選択があります。この違いは何ですか？

A 通常は研究チーム管理者がデータセット管理者になることを想定しております。しかし、同じチームの中で別の方をアサインすることもできます。

研究チーム管理者は、研究チームが有する全てのデータセットに対して権限を行使できます。データセット管理者は、そのデータセットに対してのみ、権限を行使することができます。

研究チーム

データセット基本情報

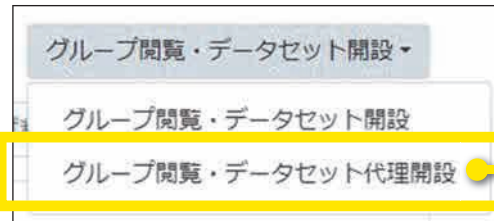
Q もしデータセット管理者が異動のために変更あるいは抜けた場合、その欄は空白になるのですか？

A データセット管理者が異動などのために DICE アカウントが停止または退会した場合でも、データセットにはその管理者情報が残ります（空白にはなりません）。データセット管理者が変わった場合は、そのデータセットが所属する研究チームの他のメンバーの方にデータセット管理者を変更してください。

14.RDEに関するFAQ集

Q データセット開設と代理開設がありますが、事務局側が登録する場合は代理開設となりますか？データセット開設と代理開設との違いが何かありますか？

A 事務局が開設する場合は代理開設となりますが、操作上等では両者には違いはありません。



操作上の違いはありません。

Q グループ名を作るときには重複する場合があるかと思いますが、大丈夫ですか？

A 同じ名前が重複している場合には、「もう一度他の名前で作って下さい」というエラーメッセージが出ます。

Q エンバーゴ期間の入力欄で、もし間違えて入力した場合はどうなるのですか？例えば、期間を短く入力した場合、気づくのが後になって、既に公開になってしまった場合はどうすれば良いですか？

A エンバーゴ期間の入力変更はエンバーゴ期間内であれば修正ができます。しかし、公開されてしまった場合は修正できません。なお、エンバーゴ期間終了日から逆算して、90日前、30日前、7日前の計3回、データセット管理者およびデータセットに登録されているデータに紐づいている試料管理者に、エンバーゴ期間終了日に関する通知がメールされます。

Q 研究チーム作成は、一つの研究チームにつき一つの課題ですか？同じ研究チームが複数の課題を持っている場合であっても、必ず一つの研究チームで一つの課題として作成するのですか？

A RDEの機能上は、一つの研究チームに複数の課題を紐づけることはできます。ARIMのような多くの利用が見込まれる場合には、管理サイドの立場からは一つの研究チームにつき一つの課題とすることが、運用上、やりやすいと思われます。



一つの研究チームに2つの課題を登録(紐づけ)しています。

14.RDEに関するFAQ集

Q RDEの課題番号については、利用報告書の番号と同じですか？

A 課題番号は文部科学省で定める「JPMX●●●●XX●●●●」です、利用報告書の番号と同じです。

Q 課題番号をそのままにして、課題名だけを変更することは可能でしょうか？

A はい。課題名だけの変更は可能です。詳細な変更の操作方法は、下記のとおりです。

①研究チームで使用する課題番号を登録する。

グループ詳細：課題番号変更確認グループ#9663

グループID: b27443e5-6ec2-480e-9b99-a44b58c4a6f9

データセット追加 編集 削除 戻る

サブグループ
なし

グループメンバー

ファイル名 ファイル選択 (未選択) CSVインポート

インポート結果 CSVインポート結果が表示されます。

ユーザー名	所属	役割	データセット登録	メンバー編集
KUME, Rieko	ITOCHU Techno-Solutions Corporation	研究チーム管理者		

課題番号

課題番号	課題名
CTC_RDE_20230623-1	CTC_RDE_20230623-課題1
CTC_RDE_20230623-2	CTC_RDE_20230623-課題2

ITRシステム管理

なし

14.RDEに関するFAQ集

- ②研究チームのメンバがデータセットを開設する。ここでは、データセット開設時に、課題番号として"CTC_RDE_20230623-1"を選んだ

RDE

データセット基本情報編集：課題番号名変更確認#9663

データセットID: 2e15052a-936c-4b9e-9b7d-b86996c4224d

事業: マテリアル先導リサーチインフラ事業

課題番号: CTC_RDE_20230623-1

課題名: CTC_RDE_20230623-課題1

データセット開設者(所属): KUME, Rieko (ITOCHU Techno-Solutions Corporation)

データセット管理者(所属): KUME, Rieko (ITOCHU Techno-Solutions Corporation)

データセット名: 課題番号名変更確認#9663

データセットの説明: データセットの説明を入力してください。

関連情報: 関連情報追加

- ③課題名を変更したいため、グループ編集画面で該当する課題番号を削除し、再度同じ課題番号で違う課題名を指定して登録する。登録結果は下記の通り。

RDE

グループ詳細：課題番号名変更確認グループ#9663

グループID: b27443e5-5ac2-465e-9b99-a44b6a0a5f9

データセット開設 編集 削除 戻る

サブグループ: なし

グループメンバ

ファイル名: ファイル選択 (未選択) CSVインポート

インポート結果: CSVインポート結果が表示されます。

ユーザー名	所属	役職	データセット開設	メンバ編集
KUME, Rieko	ITOCHU Techno-Solutions Corporation	研究チーム管理者		

課題

課題番号	課題名
CTC_RDE_20230623-2	CTC_RDE_20230623-課題2
CTC_RDE_20230623-1	CTC_RDE_20230623-課題名を変更

研究資金番号: なし

14.RDEに関するFAQ集

- ④上記のデータセットを再表示する。データセット側に設定されていた課題番号の課題名が変更されているので、課題名が変更されている。

RDE

DICE ログアウト

利用方法 KUME, Rieko

データセット基本情報編集：課題番号名変更確認#9663

データセットID: 2e15052a-936c-4b9e-9b7d-b86996c4224d

事業: マテリアル先端リサーチインフラ事業

課題番号: CTC_RDE_20230623-1

課題名: CTC_RDE_20230623-課題名を変更

データセット開設者(所属): KUME, Rieko (ITOCHU Techno-Solutions Corporation)

データセット管理者(所属): KUME, Rieko (ITOCHU Techno-Solutions Corporation)

データセット名: 課題番号名変更確認#9663

データセットの説明: データセットの説明を入力してください。

Q 新たな課題番号に変更することはできますか？

A はい。新しい課題番号に変更することは可能です。

- ①対象の研究チームにアクセスします。

- RDEのデータ閲覧アプリ (<https://rde.nims.go.jp/>) にブラウザでアクセスします。
- DICEアカウント又はNIMSアカウントでログインします。
- プルダウンから「グループ閲覧・データセット開設」又は「グループ閲覧・データセット代理開設」を選択します（どちらでもOKです）。
- 「マテリアル先端リサーチインフラ事業」をクリックします。
- 各機関のホストページにアクセスし、対象の研究チームをクリックします。

※詳しくは4.1～4.5をご覧ください。

- ②研究チーム詳細画面で「編集」ボタンをクリックします。

グループ詳細：操作体験会用チーム

操作体験用のチームです。

グループID: c74e68d3-75b1-43ba-bfeb-4925b44000d6

データセット開設 編集 削除 戻る

サブグループ

14.RDEに関するFAQ集

③研究チームの編集画面になります。

- 新たな「課題番号」及び「課題名」を入力し、「追加」ボタンをクリックします。
- 「保存」ボタンをクリックします。

グループ編集

グループ名 必須 操作体験会用チーム

説明 操作体験会用のチームです。

グループメンバ

ユーザ名	所属	役割	
MARUBAYASHI, Keiko	NIMS	研究チーム管理者 ☒ データセット開設権限 ☒ メンバ追加権限	🗑
HIRANO, Masako	NIMS	研究チームメンバ	🗑
MATSUNAMI, Shigeyuki	NIMS	研究チームメンバ	🗑
TAKEMURA, Taro	NIMS	研究チームメンバ	🗑

メンバのメールアドレスを入力してください。

課題

課題番号	課題名	
JPMXP1222NM4922	体験会用の課題	🗑

課題番号を入力してください。 課題名を入力してください。

研究資金番号

研究資金番号

研究資金番号を入力してください。

④課題番号を変更するデータセットにアクセスします。

- データセット一覧画面に戻ります。
- 目的のデータセットをクリックします。
- データセット基本情報における「編集」ボタンをクリックします。

※詳しくは8.1～8.2をご覧ください。

⑤データセット基本情報編集画面の「課題番号」のプルダウンをクリックし、先ほど追加した課題番号を選択します。

課題番号 必須 JPMXP1222NM4922

課題名 JPMXP1222NM4922

データセット開設者(所属) JPMXP1222NM4925

14.RDEに関するFAQ集

- ⑥課題番号と課題名とが変更されていることを確認し、「保存」ボタンをクリックします。

データセット基本情報編集 : TEST

データセットID: a9f24154-306a-44df-8262-04e569b0cfaf

事業: マテリアル先進リサーチインフラ事業

課題番号: JPMXP1222NM4925

課題名: 体験会用の課題その2

データセット開設者(所属): MARUBAYASHI, Keiko (NIMS)

データセット管理者(所属): MARUBAYASHI, Keiko (NIMS)

データセット名: TEST

データセットの説明: データセットの説明を入力してください。

関連情報: 関連情報追加

関連データセット: データセットを選択またはIDを入力してください。 [追加]

同じ課題番号でデータセットをすべて追加

タグ: タグを入力してください。

共有範囲

共有範囲	共有許可	ダウンロード許可	共有状態
ARIM広域シェア	☒	☒	未共有
データ中核拠点広域シェア	☐	☒	

☐ データセットを匿名にする
匿名化を有効とする場合は、タグ/ノミニーに匿名化情報が設定されていないか確認してください。

保存 キャンセル

Q リリースの機能概要は何ですか？

A リリースすると内部的にその時点でのスナップショットが作られます。それに「バージョン」や「DOI」、「リリースノート」などの付加情報をつけて管理することができるようになります。リリースされるとデータセット基本情報画面の右側にリリースされたバージョンがリストされ、クリックによって各リリースにアクセスし、そのときのデータにアクセスできるようになります。

Q リリースすると、エンバーゴ終了前でも研究チーム以外の人に公開されるのでしょうか？

A 公開は別なので、リリースによって公開されることはありません。

14.RDEに関するFAQ集

Q 前のバージョンに戻したいとなったら、戻せるのでしょうか？

A スナップショットがとられるだけなので、戻してその時点のデータにはアクセスできますが、戻してその時点からデータ登録しなおしのようなことはできません。
データ登録をすると、最新のデータセットにデータが追加されていき、ある時点でまたリリースのようなことを繰り返すだけです。

データセット詳細 : [redacted] **最新バージョン**

現在表示されているデータセットは最新リリースです。

データセット基本情報 データカタログ メタデータ項目リスト

編集

データセットID [redacted]
事業 [redacted]
課題番号 [redacted]
課題名 [redacted]
関連データセット [redacted]
データセット引用の形式 [redacted]
問い合わせ先 [redacted]
エンバゴ期間終了日 [redacted]
タクソノミー [redacted]
開設日時 [redacted]
公開日時 [redacted]
最終更新日時 [redacted]

データセットテンプレート

利用履歴

	全体	表示中のVer.
データセット閲覧数	170	118
データセットロード回数	1	0

タグ

ライセンス

バージョン

未リリース

1.0 2023-02-17

データセット詳細 : [redacted] **バージョン 1.0**

現在表示されているデータセットは最新バージョンが利用可能です。

データセット基本情報 データカタログ メタデータ項目リスト

編集

データセットID [redacted]
事業 [redacted]
課題番号 [redacted]
課題名 [redacted]
データセット開設者(所属) [redacted]
データセット管理者(所属) [redacted]
公開日時 [redacted]
最終更新日時 [redacted]

リリース

バージョン 1.0
DOI
リリースノート
リリース日時 2023-02-17 07:27:03 JST

利用履歴

	全体	表示中のVer.
データセット閲覧数	171	83
データセットロード回数	1	1

タグ

ライセンス

バージョン

未リリース

1.0 2023-02-17

関連情報

14.RDEに関するFAQ集

Q 「データ所有者」はRDEにおいて何の権限の付与も無いですか？

A ないです。データ所有者は役割（ロール）ではなく、属性情報であるため、RDEにおいては何も権限付与されていません。

14.3 データ登録にかかる事項

Q データをアップロードするのは誰ですか？

A データのアップロード（データ登録）は、原則、機器利用者が行うことを前提としています。ただし、代行で機関のスタッフが行うことも可能です。

Q データ登録ではARIMのスタッフが代行してアップロードすることや、ARIMのスタッフが各利用者のデータを編集できますか？

A データ登録については、ARIMスタッフが登録代行でアップロードすることはできます。RDEにアップロードされたデータセットのデータの閲覧や編集権限は（データの権利の関係上）ARIMスタッフにはありません。

Q ウェブからではなく、データを一括して登録することはできますか？

A 所定の形式にそろえた形であれば、データの一括登録はできる仕様にはしております。ただし、以下の2点の留意事項があります。

- ① 一括データ登録は、ユーザーや各機関の技術スタッフによる作業はできません。依頼によるセンターハブのシステムエンジニアの作業による形態となります。
- ② 一括登録においては、事前に所定の様式がシステムに登録できるものであるかをセンターハブと技術的な確認およびデータ構造化のスキプトの作成が必要となります。

Q 登録できるデータ量のファイル個数には、何か制約がありますか？

A アップロードできるファイルサイズは1ファイルにつき2GBです。ファイル数は制限がありません。

14.RDEに関するFAQ集

Q 一つのデータセットに例えば画像写真であれば何枚ぐらい入れられますか？ 条件を振ると数百枚の撮影（画像）が出てくる装置もあります。

A 一回にアップロードできるファイルサイズは1ファイル当たり上限2GBの制限がありますが、ファイル数の制限はございません。

Q データが多く構造化時間がかかる場合、処理が終わらないような状態の時でブラウザを閉じて大丈夫ですか？

A 一旦アップロードされ、「データ登録受付」の表示が出ればウェブを閉じて大丈夫です。後日に登録状態が確認ができます。

Q RDEシステムでは装置毎にデータセットを登録するイメージですが、プロセス加工系の場合のイメージが湧かないです。

A プロセス加工系の場合は「工程単位」ごとにデータセットを作成していくことをご提案しております。

Q データ登録でデータが複数のフォルダーという構造になっている場合はどのように送るのですか？

A その場合にはフォルダーをZip化してアップロードいただく形となります。ただし、zipで送ることを事前に定めて構造化コードを準備する必要があります。

Q 同一課題番号で複数の装置を使う場合は、データセットはどのように登録するのですか？

A 同じ課題番号で複数台の装置を使う場合には、その複数台分のデータセットを開設する運用を想定しております。

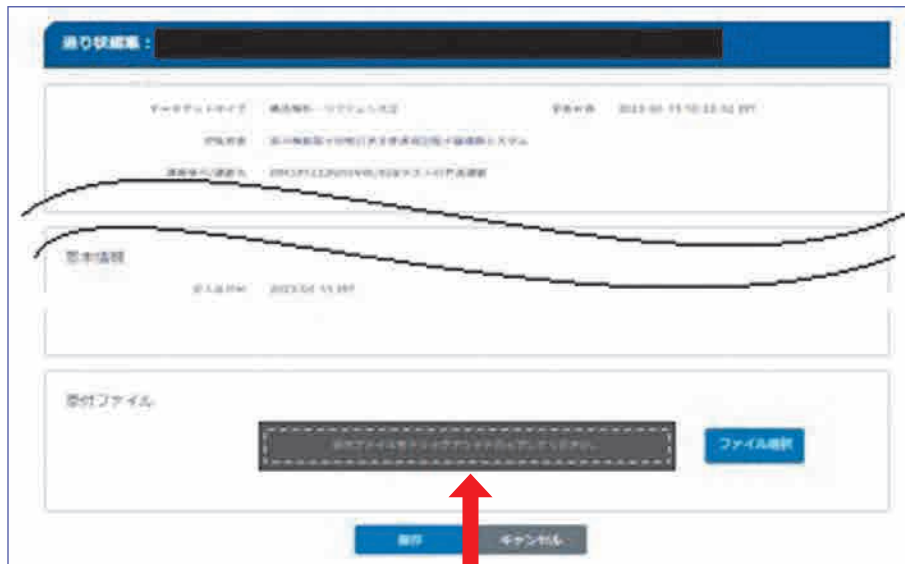
Q データ登録する際のアップロードの方法について、複数のデータを一回で投入する方法と何回に分けて投入する方法とはどう違いますか？

A 試料名や固有情報の手入力項目の値が同じ場合は複数のデータを一回で投入することができます。異なる場合は分けて登録することになります。

14.RDEに関するFAQ集

Q データ詳細一覧の中に「概要」と並んで「添付ファイル」というタブがあります、それはどういうファイルのことですか？

A 添付ファイルは、データ閲覧画面から構造化をせずに送り状編集のところで追加として入れることができます。この場合、装置PCや転送用PCではなく、個人PCから添付することが可能です。



14.RDEに関するFAQ集

Q データを登録した後に正常終了できない場合、具体的にどのようなエラーが表示されるのですか？

A 正常終了できない場合、「異常終了」というメッセージ等が出てきます。エラーの内容はRDEシステム関係者でも検知し、エラーがあった内容を分析いたします。
また問合せフォームでお知らせいただければ、対応が早まります。

1. DICE お問い合わせフォーム (<https://dice.nims.go.jp/contact/form.html>)

DICE

データサービス DICEとは 利用方法 NEWS・お知らせ 関連サイト お問い合わせ

お問い合わせ フォーム

お問合せは、以下のフォームからお願います。
サービスの内容については、お問合せの前に下記の「よくあるご質問」をご確認ください。

- 本サイトおよびサービス全体に関すること
- NIMS 物質・材料データベース (MatNavi) に関すること

※本サイトは日本語及び英語にのみ対応しています。日本語又は英語以外でフォームに入力すると、文字化けしてお問い合わせ内容を確認することができません。
ブラウザの自動翻訳機能を使ってサイトをご覧になっている方はご注意ください。

件名: -- 選択してください --

お名前:

所属:

E-mail:

E-mail (確認):

対象サービス: -- 選択してください --

内容:

確認する

14.RDEに関するFAQ集

Q 登録後のデータをダウンロードせずに確認したいときには、どのような参照機能がありますか？

A RDEのデータ一覧の検索条件で、データ名や試料名などを入れて検索して頂ければ、データセットの中でデータをダウンロードせずに確認することができます。

データセット一覧 > 目的のデータセットを選択 > データ一覧 > 検索条件

The screenshot shows a web interface for searching data sets. At the top, there is a tab labeled 'ギャラリー表示'. Below it, a section titled '検索条件' (Search Conditions) contains several input fields and buttons. The fields are: 'データ名' (Data Name) with a placeholder 'データ名を入力してください。', 'データ番号' (Data Number) with a placeholder 'データ番号を入力してください。', '試料名(ローカルID)' (Sample Name (Local ID)) with a placeholder '試料名(ローカルID)を入力してください。', 'データ所有者' (Data Owner) with a dropdown menu, 'タクソノミー' (Taxonomy) with a dropdown menu and a text input field with a placeholder 'タクソノミーを入力してください' and an '追加' (Add) button, '説明' (Description) with a placeholder '説明を入力してください。', and '登録日時' (Registration Date) with two date pickers separated by a tilde '~'. At the bottom of the form are two buttons: '検索' (Search) and 'リセット' (Reset).

Q これまでハブに貯めていたデータを、RDEへ登録するときはどのように行うのですか？

A ハブに貯めて頂いたデータ形式を確認する必要がありますが、一時保管のルールに従っていただければ入力項目が対応していますので、比較的に移行がスムーズに行えます。

Q 構造化せずに生のデータを取りあえずサーバーに送って保管することはできませんか？

A 構造化ができていないデータについては、各機関にて一時保管をすすめていただき、ハブ機関で構造化プログラムができましたら、その後に一時保管されたデータをクラウドへアップロードしていただくことを想定しています。

Q ほかの形式で入れたデータが自動で読み込めるのですか？

A データの形式を確認する必要があります。

14.RDEに関するFAQ集

Q 装置に対応するテンプレートができてないとデータ登録ができないですか？どこかで登録して置いて、テンプレートができたら構造化することになるのですか？

A テンプレートができていない場合（構造化コードができていない場合）にはRDEシステムへの登録は受け付けられません。一次保管をしていただき、その間にデータ構造化のコードやテンプレート作成を行っていただくものとなります。

Q 既存のデータセットのテンプレート（送り状）を修正した場合、修正後に登録したデータには、修正後のテンプレート（送り状）が反映されますか。修正前に登録されたデータは、そのままなのですか？

A 修正後の登録データには、修正が反映されます。修正前の登録データはそのままとなります。

Q データセットの秘匿化（氏名等非表示化）の申請とはどのようなものですか？

A データセットの秘匿化（氏名等非表示化）とは
非共用期間（エンバーゴ期間）が終了し、データセットが共有化された際に、データセットにおける氏名や所属機関名を非表示^(※)にすることができる機能です。

※非表示とは

閲覧・検索での対象とはならず、かつデータ提供においても、当該項目は削除されて共用されます。

秘匿化（非表示化）を行う時期によって、必要な申請手続きが異なります。

〈データセット **開設時** に秘匿化（非表示化）を行う場合〉

- データセット開設時に「データセットを匿名にする」にチェックを入れる（非表示化操作）。
- センターハブへ所定の「氏名等非表示化申請書」を事後提出する。

〈データセット **開設後** に秘匿化（非表示化）を行う場合〉

- センターハブへ所定の「氏名等非表示化申請書」を事前提出する。
- センターハブが当該申請書を受理する。
- センターハブが非表示化操作を行う。

14.RDEに関するFAQ集

14.4 入力情報について

Q 必ず手入力画面からの入力が必要ですか？

A 手入力項目を Excel ファイルで置き換えることもできます。既に使用している Excel の実験指示書やプロセス指示書がある場合、それらも構造化プログラムに組み込むことができます。



Q データ構造化するに当たって、メタデータを Excel で纏めたファイルを作りました。もう一回手入力で転記するのは大変なので、自動的に読み込みで入力できますか？

A データ構造化処理において、Excel から自動的に読み取る python プログラムを作成すれば可能です。微細加工ではプロセス条件の記述を事前に記入していただいた Excel ファイルから抽出する事例を紹介いたしました。

Q データを登録するときの ID はどのように付与されるのですか？

A データセットに登録されたデータにもそれぞれ個別に ID が自動的に付与されます。これはユニーク ID となっており、ウェブ URL でも用いられるため、一義的に引用ができるようになります。

Q 試料 ID はなぜ設定されるのですか？

A データベースでは研究チームごとに試料を識別させるために ID を付けます。同じ「金」であっても、研究チーム A の「金」と、別ユーザー Gr の「金」とは別物として扱います。

14.RDEに関するFAQ集

Q 登録が終わったらメタデータの編集ができますか？ファイルから抽出されたメタデータは誤った情報が出てくる場合がありますが、どのように訂正しますか？

A 手入力項目のメタデータの修正については送り編集状態で修正できますが、自動的にファイルから抽出された出力パラメータ等のメタデータについてはできません。ファイルの中に記載されているメタデータは装置そのものから出力されているものであるため、コードで修正する前に装置側で修正や設定の確認が必要となります。

メタ情報					
分類	日本語名	英語名	単位	値1	値2
基本情報	記入年月日	Date of Data Entry		2022-11-02 JST	
	データ所有者(所属)	Data Owner (Affiliation)		MATSUNAMI, Shigeyuki (NIMS)	
	データ名	Data Name		1102_001	
	説明	Description		1102_5割を削入れた	
装置情報	登録名	Registration Name		片麻岩系元岩試料	
固有情報	サンプル形状	Sample Form		粉体	
	測定雰囲気	Atmosphere			
	前処理	Pretreatment			
	備考	Remarks			
	名前	Name			
	説明	Description			
	コメント	Comment		None	None
	作成日	Creation Date		2022-02-21T08:09:51	2022-02-21T08:07:44
	タイトル	Title		double_488_561	single_488
	サイズX	Size X		512	256
	サイズY	Size Y		512	256
	サイズZ	Size Z		2	

固有情報において、



がある項目→

送り状編集

から修正可能



がない項目→

送り状編集

から修正不可

登録ファイルからの自動抽出のため。

14.RDEに関するFAQ集

14.5 試料情報について

Q 試料名の入力は何で構わないのですか？

A 赤いマークで「必須」とある箇所は、必ず入力が必要な箇所となります。それ以外の項目は「任意」です。

Q 試料情報はどのような利用が可能ですか？ 実験の際に入れることができたなら、メタデータとして利用できるのですか？

A 試料情報は登録データと紐づきます。また、同じ研究グループであれば試料情報を共有することができます。そのためAさんが測定したサンプルXをBさんが再び測定して登録するときに、Aさんの登録したサンプルXを呼び出すことができます。

Q 試料管理者を必須とする理由は何ですか？

A 測定対象の試料（サンプル）は、必ずしも測定者が所有している試料とは限りません。試料の所有者、管理者を明示させることが目的です。

また、試料情報は更新することができます。このため、分析を通じて明らかとなったことを追記することで、詳細な試料情報をチームで共有できるようになります。また、これらの情報はメタデータとしても利用できます。

Q 試料名を変更するにはどうすればよいですか？

A 試料名の変更手順は、次のとおりです。

- ① <https://rde-material.nims.go.jp> にアクセスし、ログインします。
- ② 検索窓の虫眼鏡ボタンを押します。
- ③ 修正したい試料名をクリックします。
- ④ 右上の「編集」ボタンをクリックします。
- ⑤ 試料名などを修正（編集）します。
- ⑥ 画面下部の「保存」ボタンをクリックします。

14.RDEに関するFAQ集

14.6 テンプレート・メタデータについて

Q テンプレートの修正は可能ですか？

A テンプレート（HTML）の修正は可能です。ただし、システムにおける差し替えや動作確認など必要となることから、修正を即時反映させることはできません。

Q メタデータの選定に関して、今後、状況に応じて内容の変更は可能ですか？

A 可能です。考え方としてはバージョンという考え方で管理してゆきます。データ登録でも古いバージョンと新しいバージョンの登録様式を選択できるようになっております。

Q 同じ種目の装置にしてもメーカーに依存することなく動作する構造化プログラムを作る方針ですか？

A 装置メーカーごとによって使う用語も違うので、メーカーに依存せず動作するプログラムを作る方針はとっていません。各装置（メーカー）に特化したプログラムを作ってデータを取得することを進めていく方針です。

Q 装置ごとで構造化の方法やメソッドが異なる場合があります。例えば装置のある機能と別の機能の構造化はどのようにして行いますか。何か選択肢を作ることができますか？

A できます。装置ごとに走らせる構造化のコードと入力画面（テンプレート）の組合せを可変に切り替え / 組み換えることができます。ユーザーさんが希望すれば、そのユーザーに特化した構造化コードや入力様式（テンプレート）を作成させることもできます。ただし、これは事前にそのようなコードやテンプレートを作成して実装しておく必要があります。

Q 似たような装置について機種名は違っても作り上げていくメタデータが機関ごとにバラバラだと思いますが、最終的にそれを統一させるフォーマットに書き換えるのですか？

A 最終的にはそれを目指していると思いますが今は各機関にどのようなメタデータが必要かを聞き取りしている段階です。同じような装置で同じような機種型のデータが集まってきて、どのメタデータをとることが好ましいか等は、今後、集約したメタデータをハブ機関の構造化委員会等で持ち寄りながら統合できる部分は進めてゆきます。

14.RDEに関するFAQ集

Q メタデータの統一はどのように進めるのですか？

A 最初から壮大なスケール（コンセプト）をガッチリ定めて作ろうとすると膨大な事前の調整時間がかかり、先に進みません（ウォーターフォール型開発）。DX系の作業としては、まずは一つ一つ小さなものから積み上げ、つなぎ合わせていくスタイル、いわゆるアジャイル開発が好ましいと考えております。

Q メタデータはそもそも必要ですか？

A メタデータは第三者が利用するにおいて必要となるもので、データ利活用ではメタデータがデータの価値を高めるとされています。また、技術分野などによっても集めるべきメタデータやその重要度が異なります。各機関からサンプルデータをいただきながら各機関の状況をお聞きしながら必要となるメタデータやフォーマットをお聞きして実装を進めています。

Q 構造化プログラムは誰が作るのですか？

A 基本的には担当ハブ機関が作ることになります。相談して頂ければセンターハブも支援します。

Q Python スクリプトは機関側で改良できますか？

A 可能です。ただし、修正したコードのRDE（クラウド）への実装手続きはセンターハブで行います。

Q テンプレートの固有情報などの作成は、機関側からの要望をセンターハブで受けて作成する認識でよろしいですか？

A 現状ではセンターハブでテンプレート作成を行ってシステム登録をしておりますが、テンプレート作成のツール等の整備を図り、各ハブ機関でも作成できるような運用を考えております。

Q メタデータの選定を変更した場合は、既存のデータセットに反映可能ですか？

A メタデータ変更の場合は、新たなデータセット開設が必要となります。

14.RDEに関するFAQ集

Q Pythonプログラムの修正は、既存のデータセットに適応させることができるのですか？

A 基本的にはできません。しかし、異常終了のバグ回避のみであり、メタデータ等の出力自体を変えないのであれば、可能だと考えられます。例えば、計算式の間違いの修正であり、出力先のメタデータや項目名は変わらないという場合などが考えられます。

14.7 データ削除にかかる事項

Q データの削除はできますか？また削除から元に戻すことができるのですか？

A データの削除はユーザーで可能です。しかし、一旦削除した場合には元に戻すことはできません。削除したデータの復帰の問い合わせはお受付いたしませんので慎重に行ってください。

Q 同じファイルを複数回にわたりアップロードした場合、前の登録に上書きされてしまいますか？

A 同じデータを登録しても上書されません。そのため、前のデータもあわせて表示されます。

Q データをアップロードしてからまた追加データがある場合、先のデータやデータセットを削除してもう一度アップロードしなければならないですか？

A 同じデータセットに追加で登録可能です。同じデータであっても、先に登録されたものに上書きされるわけではありません。

Q 研究チームの管理者であれば、データセット管理者でなくてもデータセットへのアクセスやデータ削除は可能ですか？

A できます。

Q データの削除が多いとペナルティーとなるとのことですがどういう基準ですか？

A データ登録量に対して削除量が、その装置利用における平均的な水準よりも行き過ぎた削除が認められた場合には、データ登録者に対して事実確認をとるなどの措置をいたします。またそのような事実確認後も、過度の削除が繰り返されるような場合にはアカウント停止等の措置を講ずることも可とする運用としております。

14.RDEに関するFAQ集

Q データセット開設したメンバーを削除したら、開設されたデータ情報が残りますか？

A メンバーが削除されても、開設されたデータ情報は残ります。

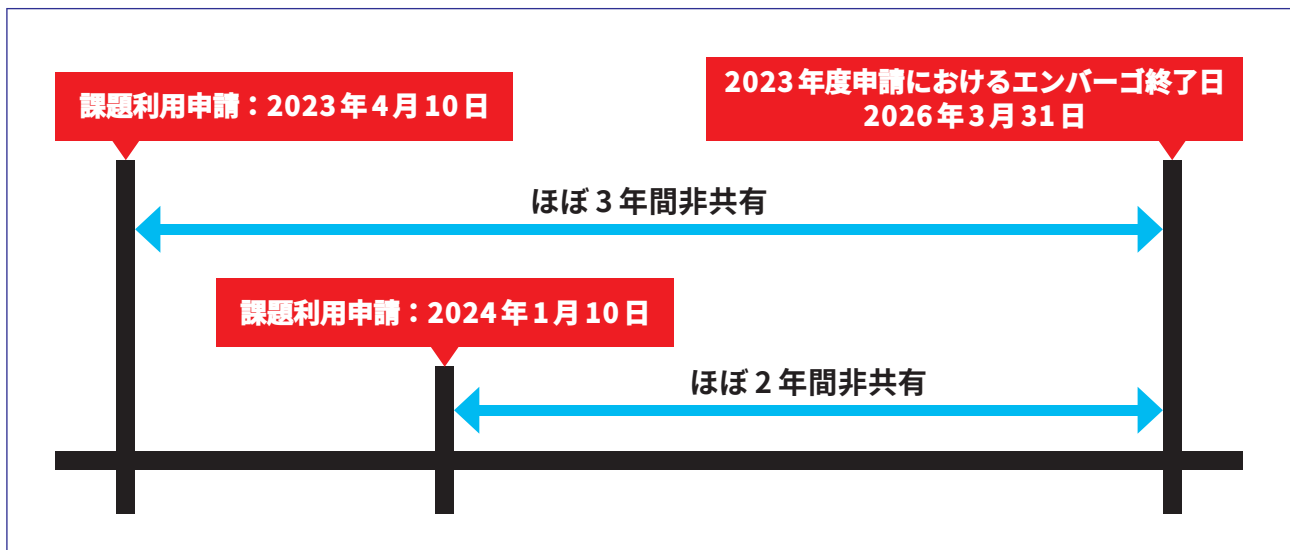
14.8 非共用、共用（広域シェア）について

Q データセット開設後の非共用の期間はどのくらいですか？

A エンバーゴ期間は2年 + α です。その間は、研究チームに所属しているメンバーだけ見ることができ、機関スタッフも見ることができないため機密性が確保されます。

エンバーゴ期間 = 2 年度間

例：2023 年度申請 → 2025 年度最終日（2026/03/31）にエンバーゴ終了



Q 非共用の時点では、実施機関担当者（装置担当者）もデータを見ることはできないとなると、成果収集時にデータの有無を調べる必要はないのですか？

A データ登録規約では、実施機関担当者（装置担当者）は守秘義務が課せられていたとしても、お客様がシステムに登録したデータセットの内容は「非共用」の間は見ることができないルールとしました。

ただし、成果報告のための利用状況・統計情報として必要となる、登録ファイル数、バイト量、登録日時、エンバーゴの設定日などのデータ中身によらないデータベースの管理情報は運用者側（システム管理者）が扱うことができます。成果にかかる集計は、原則、そのデータベースからの取得できるデータで行います。

14.RDEに関するFAQ集

Q 非共用から広域シェア（事業内共用）に移行はどのように行うのですか？

A エンバーゴ設定日に自動的に行われます。

Q 広域シェアからデータ中核拠点への移行は自動ですか？（論文情報等を収集したデータから利用して行うのですか？）

A この場合は、手動となります。

14.9 システムにかかる事項

Q RDEシステムについて、テスト環境は用意されているのですか？

A テスト環境は用意されていますが、センターハブのみであり、各機関スタッフは利用できません。

Q データセットを開設するサイトにログインしてからセッションが切れる時間はどのくらいですか？

A ブラウザでの利用ではセッションは当日中有効だったと思います。1時間でトークンは有効期限切れますが、ブラウザが開いていれば延長の処理はしています。

Q データセット開設ページとデータセット登録ページとの相互リンクはできるようになる予定はありますか？

A データセット閲覧アプリとデータ登録アプリとを相互に行き来するようなリンクを作成する予定は今のところありません。データセット閲覧は各自のPC、データ登録アプリは装置PCでの動作を想定しており、双方の行き来は発生しないため相互に遷移できるリンクは設けていません。

Q データベースの安全性についての質問です。例えばデータセンターが物理的に事故にあってデータが失われたときにバックアップのデータが別の場所、データセンターに用意されているのですか？

A バックアップは行っておりますが、物理的な事故や障害があったときに完全に復帰できることは保証しません。オリジナルのデータはユーザーでも大切に保管に努めてください。

14.RDEに関するFAQ集

Q データの表示では階層化はできますか？例えばフォルダーのようにして並べるイメージです。

A 条件付きながら可能です。データセット詳細の画面では「ギャラリー表示」と「ツリー表示」の二つが選択できます。そのツリー表示では項目ごとに整理されたデータの表示ができます。

データセット基本情報

公開範囲	マテリアル先端リサーチインフラ事業
タクソノミー	acquisition_mode sample.name

タクソノミーキーの設定内容：

測定モード (acquisition_mode) 試料名 (sample.name)

データ一覧 ツリー表示

ギャラリー表示	ツリー表示
---------	-------

▼ STEM

- > [アイコン]_110_20161007
- > [アイコン]_20140817
- > [アイコン]_211_20120719
- > [アイコン]_001_20130225
- > [アイコン]_001_20131229
- > [アイコン]_001_20191028
- > [アイコン]_110_20131103

ツリー表示のされ方：

第一階層：STEM（測定モード） 第二階層：試料名

フォルダーに相当する階層化したい項目はメタデータを使います。そのメタデータの指定を行わなければなりません。これはデータセットの編集画面から「タクソノミー」の欄に階層化したいメタデータをタグとして登録することで可能となります。

改訂履歴

版数	発行日	改訂箇所	改訂内容
第 1 版	2023 年 10 月 2 日		初版発行
第 2 版	2024 年 6 月 28 日	P. 1,9 P. 18 P. 25 P. 26 P. 32 P. 33 P. 45 P. 71,72,85,88	v5 版対応を明示 csv インポート v5 版データセットテンプレート 追加設定（データセット秘匿化） 試料情報の入力内容の更新 添付ファイルの登録方法 編集可能な項目： ・課題番号（プルダウンから選択）（※ 1） ・データセットの匿名化（※ 2） ※ 1、※ 2 の追加 ・****（選択）を含む項目は （プルダウンから選択） or（ラジオボタン）に変更 Q&A 訂正

RDE の操作手引き

発行日 2024 年 6 月 28 日 第 2 版発行

発行者 国立研究開発法人物質・材料研究機構
技術開発・共用部門
マテリアル先端リサーチインフラセンターハブ
データ共用事務局

連絡先 arim_data@ml.nims.go.jp